年中無休刊　大正七年三月十六日　THE KEIJO NIPPO　第三千七百六十五號（一）

京城日報

十五日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社　發行兼編輯人 奥田道□　印刷人 小川三之介

獨逸東漸と極東

▲獨對日計畫
軍團組織＝俘虜八萬を以て

獨逸は在露俘虜八萬を以て二個軍團を組織し日本に對抗せしめんとし一個軍團はイルクツクに於て秘密に編成しつゝあるが是れが爲め將校百三十名はクラスノヤルスクより既にイルクツクに到著しつゝあり獨逸は西伯利亞に於て二個軍團編成の計畫中なりと（哈爾賓特電）

▲聯軍侵入と俘虜軍隊決議
イルクツク俘虜收容所長の談に據れば獨墺俘虜軍隊は過激派官憲と協議の上聯合國側の軍隊にして西伯利亞に侵入の際は同地駐在の聯合國領事を監禁し日本領事を銃殺す可く決定せりと（哈爾賓特電）

▲獨東漸防禦協議
西伯利亞當局と露國代表委員は近く哈爾賓に會し過激派の主義を排し獨逸軍國主義東漸を防ぎ又西伯利亞に於ける外國軍隊の自由行動を阻止する爲め協議すべしと（長春特電）

▲露國不安益激增
過激派政府が十一日露都より莫斯科に遷したるは獨逸の講和條件に屈伏したる證左なるにも拘らず獨逸は猶露國の革命を破壞せんが爲め種々の壓迫を加へ最近芬蘭に其毒手を伸ばし來れるより露國の不安を激增するに至れり（長春特電）

支那の形勢

▲馮總統段氏訪問
馮總統は十四日段祺瑞氏を訪問し國務總理就任を勸告せり（北京電報）

▲陸榮廷廣西出陣
陸榮廷氏は十日廣西省貴縣に出陣せりと（北京電報）

▲奉天軍出動中止
張督軍は京奉線に對する列國よりの抗議に依り出動準備を整へたる第二十八師第二十九師一混成旅團の出動中止を命じたり（奉天特電）

▲對邦船襲擊抗議
吉澤駐支代理公使は十三日長江に於ける本邦船襲擊に關し嚴重に抗議する處あり尚損害賠償に關しては調査の上更に要求すべき事を附言せり（北京電報）

○露貨下落防禦策
在上海露亞銀行總辦の談に依れば東淸鐵道沿線通用の目的を以て露亞銀行より大洋票を發行し露貨の下落を防ぎ漸次沿線通貨の本位を換へんとする企畫は十五日東京にて開會の同銀行總會の議題として討議されたるが決定の曉は準備金を上海に置き同紙幣との差額を有利にす可しと（上海特電）

○航空隊新設
本年內に於て吳、佐世保の兩軍港に海軍航空隊を新設するに就き調査委員山口大佐一行は最近實地調査を爲したり（大阪特電）

◎總督水產主任招待
長谷川總督は十六日午後四時より水產主任會議出席者一同を京城ホテルに招待し茶菓の饗應を爲すべきが小原農商工部長官を始め關係當局者並に荻田總務局長主人側として出席すべし

◎內田大使
十五日頃哈市著

十四日哈爾賓滿鐵公所より其筋へ左の如き電報ありたり

只今東淸鐵道への入電に依れば米國大使一行の列車はチタを發し滿洲里に向ひつゝあり其他支那勞働者を乘せたる列車も同樣の方向を取りたる模樣より察するに前電の過激派と支那側との交涉纏りたるものなるべく果して爾りとせば內田大使は十五日頃哈爾賓著の見込。尚東淸鐵道に就て聞く處に依ればセミヨノフ大尉大に失敗したる結果塞爾兵一個中隊並にオルポフ大佐はセミヨノフ大尉を見捨てたるが如し

◎間島と鮮銀券
近來朝鮮銀行券の流布は殆んど間島一圓に亙り山間僻陬の地と雖も鮮人農村の存する所は主として鮮銀券を用ひ間島內地を旅行するにも支那宿は鮮銀の小札を悅ぶ向を生じ鮮銀券の通用力は短期の間に著しき進步を見るに至れり是れが原因は淸會線鐵道の開通により會寧經路に屬する間島穀類の輸出に一轉機を劃し輸出界一段の生氣を加へたると共に龍井市場に蒐集せる穀類の取引決濟は一に鮮銀券の支配に歸し取引金融の關鍵は龍井鮮銀出張所の手に扼しをれるがためにて輸出界の生氣潑剌たる景氣に連れ鮮銀券の通用流布漸次は是れを昨年前に比して隔世の感あり（間島）

◎朝鮮銀行法改正
新設の副總裁は三島理事就任乎

朝鮮銀行法の改正案は十四日政府より衆議院に提出直ちに委員附託となりし旨本紙東京特電は報じ來れるが

▲改正案の內容は既報の如く保證準備發行限度三千萬圓を五千萬圓に擴張する事並に信託業務の開始及び其の一般的監督權を總督府より大藏省の手中に移さんとする外猶ほ一件副總裁の新設を見る事を加へられ居れり尤も委員會並に本會議及び貴族院にて如何なる修正を受くべきかは今日に於て豫測を許さゞるも今回改正案の主眼とする所は保證準備發行限度現行法三千萬圓に更に二千萬圓を加へ

▲五千萬圓に擴張せんとするにあるがコハ明治四十四年現鮮銀法制定當時と現今とは朝鮮財界の發展變遷並に鮮銀業務の推移到底日を同じくして談ずべからず又鮮銀は昨冬滿洲に於て金券の統一を行ひ正金銀行發行金券の用務を受けしあり且つ今後滿蒙の開發に貢獻すべき資金を保證準備發行額の增大により成るべく低利に供給を圖らんとし又鮮銀を以て滿蒙地に其の機關の新設を多からしめんとする事等が理由となり居るものゝ如きに付議會に於ても素より問題とはならざるべし唯通貨の著しき膨脹は鮮滿に於ける

▲物價騰貴の趨勢を一層促進せしむべく此の意味より保證準備發行高の俄に二千萬圓も增加する事は不可ならずやとの議論或は一部に於て出で來るべきも鮮滿に於ける近時物價の騰落は鮮銀券發行の多寡によると斷ずるより寧ろ內地の物價に左右せられつゝありと稱するを以て當れりとすべきにて此種の議論は多く顧みられざるべき乎又昨冬鮮銀券の發行は七千萬圓弱に及び現に一千萬圓の限外發行許可を總督府より認可されたるに見るも事實上財界の狀勢は準備發行擴張を要求しつゝありとも見るを得べし

▲信託業務の開始は今日に於て銀行當局も其の成績の豫想を明確になし得ざる如くコハ寧ろ保證準備發行擴張に附隨せるものと云ふを至當とすべし而して一般監督權を大藏省に移す事は鮮銀の營業區域が滿洲に東洋的より世界的たらんとする今日止むを得ざるべし又副總裁制は本年二月頃までの所にては多分置かれざるべしとの說ありき現に銀行法は首席理事に總裁代理事務執行の可能を明示し居るに付必らずしも其の必要なからんと稱されつゝありしも鮮銀に比し年處に長短あり業務に甲乙あるも同じく

▲特種銀行として活動する日銀正金勸銀興銀臺銀等には何れも總裁副總裁制を設け居れるに付政府も大藏の權衡を慮ればかり新に副總裁制を設くる事となしたるに非ざる乎尤も業務擴大の今日其必要も起り來りしならん而して副總裁は素より政府任命なるべきが該案にして通過せば多分現首席理事三島太郎氏之れに就任すべく理事は三名以上となり居るに付別に現員に變更なからんとの觀測行はれ居れり尙ほ鮮銀法制定當時下院の委員會にて何故に鮮銀に副總裁を置かずやとの質問を提出したるものあり右に對し

▲政府委員は其の必要を認めずと答へ居れるが當時の鮮銀は

◎客年柞蠶狀況
平安北道の特產にして大正六年に於ける同道の柞蠶飼育は前年來繭價の昂騰したる影響に依り春期の飼育戶數二百七十六戶、放養蛾數二百三十五萬蛾を算し前年に比し飼育戶數に於て二割八分放養蛾數に於て一割九分を增加し秋期の飼育戶數二百三十戶、放養蛾數百九十一萬三千蛾にして前年に比し飼育戶數に於て四割二分、放養蛾數に於て十六割の躍增を示し而して同年の柞蠶飼育中は槪ね天候順調なりし爲近年稀なる豐作を得繭產額は春期に於て四千六百二十六萬四千顆、秋期に於て三千九百八十萬三千顆合計八千六百六萬七千顆を算し前年に比し春蠶九割七分秋蠶廿九割七分の增加を示せり

◎局部改修道路
京城府土木係にては大正六年度中の事業計畫として府內道路の局部改修に着手せるは既報の如くなるが工事數十八箇所の中既に竣工を見たるもの四、目下工事中のもの十、工事未着手のもの四箇所あり年度內には大抵竣工の見込なるが目下工事中のものにも竣工に近きもの數箇所あり尚本事業は每年度一定場所を豫定し四箇年間の繼續事業として汎く京城府內に於ける道路の擴張、附替若くは敷設を完全にすべき豫定なりと年度內竣工の豫定若しくは既に工事の完了を見たる府內局部改修道路及び其の工事費左の如し

場所	工事費（圓）	延長（間）
自旭町二丁目至漢陽公園	五五〇	一〇〇
自旭町二丁目至漢陽公園	三〇〇	五〇
大和町一丁目（擴張）	二五〇	一〇
同町二丁目（同）	一、〇〇〇	三〇
旭町一丁目（同）	二八〇	[illegible]
明治町改修	五五〇	[illegible]
自旭町至三笠通	一、四〇〇	一九五
自南大門至漢陽公園	三、〇〇〇	[illegible]
南米倉町（擴張）	未定	二〇
米倉町關帝廟附近	未定	一〇
蓬萊町三丁目	四八三	一〇〇
竹添町三丁目	一、五〇〇	一三〇
南山町二丁目（階段）	六〇〇	一
中學洞	一〇〇	一〇
嘉會洞	四〇〇	一〇〇
校洞（橋梁改）	一九〇	一五
觀山錦町（道路敷設）	三〇〇	四二〇
自西大門至土地調査局前	七、八〇〇	二七〇

◎地方費追加豫算
京畿道　大正六年京畿道地方費追加豫算左の如し

▲歲入臨時部　第三款國庫補助金追加百九十九圓第二項教育補助金追加百九十九圓歲入臨時部合計二十四萬一千五百七十二圓歲入總計八十一萬六千四百三十一圓

▲歲出經常部　第六款教育費追加百九十九圓第一項仁川公立商業學校費追加百九十九圓第三項公立簡易實業學校費追加七十四圓歲出經常部合計四十八萬二百九圓

◎辭令
十四日附左の通り辭令ありたり

任鎭南浦公立商業學校教諭　叙高等官七等五級俸下賜　公立商業學校教諭從七位　佐藤松次郎

任釜山公立商業學校教諭　叙高等官八等八級俸下賜　公立商業學校教諭　阪根久八

任釜山公立高等女學校教諭　叙高等官八等八級俸下賜　釜山公立商業學校教諭　佐伯建策

任總督府技師　叙高等官六等　京城工業專門學校教授兼總督府中央試驗所技師從七位　宇野三郎

農商工部商工課兼內務部學務局學務課勤務を命ず　朝鮮總督府　服部登吉

任朝鮮總督府事務官　叙高等官七等三級俸下賜　京城府在勤を命ず　朝鮮總督府技手　三田伊三郎

任朝鮮總督府技師　叙高等官八等十一級俸下賜　農務課在勤を命ず

◎鈴木少將消息
騎兵監鈴木少將は來る十六日夜元山より入京の筈なるが十七十八の兩日京城滯在の豫定なりと

◎大屋氏顧問說
中井支那交通部顧問滿期と共に新に前鐵道局長官工學博士大屋權平氏の顧問就任說有力なる旨東電は報じ來れるが右に付博士に親近せし某氏は曰く大屋氏は退官後未だ說のみにて勅選ともならず二宮並に東京間を往復し殆んど無爲に苦しみつゝある如し現に尙ほ年齒五十五六猶ほ老齡職に堪へずと云ふ方に非ざるに付若し其筋より同氏推擧の事あらば恐らく就任すべし唯支那顧問なるものは何等權力を有せざるに付氏も或は物足らざる感を抱くべきも前任者平井晴二郎博士は大屋氏の先輩に付此點は氏にとり躊躇の必要なからん又技術は公知の事實にて何等不足なかるべく關地の候補者たる野村龍太郎氏等に比すれば政治的手腕も勝れりと稱して可ならん

◆浦鹽特派記者出發
東露の眞相は混沌として分明ならず歐洲中央同盟國の魔手は今や極東に伸びんとす茲に於てか對露出兵說盛んとして盛んに起り同時に世人の知らんと欲するものは現時西伯利の眞相にあり此時此際我社は時局に對し特に在哈爾賓長春の社員を督勵し努めて其の眞相を得せしめんとしつゝあるは愛讀者各位の知悉する處なるも更らに今回

記者　西村滿藏

を浦鹽に特派し對浦經濟に將又其他萬般に亘つて詳細の調査視察をなさしめ電報に通信に之が眞相を報道せしめんとす之れ即ち我社の江湖に對する微衷に外ならず而して西村記者は既に十四日午前京城を發し同夜直に元山より浦鹽に向つて出發せり數日ならずして其の報道の紙上に躍如たるものあるべし

京城日報社

東京より
在京一記者

獨逸東漸と極東問題（八）
日支共同作戰の要

○露獨單獨講和成立の結果、露國が政治的に經濟的に獨逸化せらるゝ場合其の影響の聯合諸國に及ぼすべき利害の重大なるは勿論。而かも西伯利方面、亞細亞方面に在りて特に其の影響を受くるものは日支兩國たらざる可からず。

○單に支那に就て云ふも、滿洲里以西、略什略爾に及ぶ三千哩の地域、即ち外蒙古、唐努烏梁海、科布多、伊犂、新疆に至る地方は露國過激派、若くは獨逸勢力の爲に極めて侵入せられ易き方面に屬し而かも支那は、今日に至るまで何等防禦の準備なきにあらずや。露國過激派にして、支那に侵入せむとせば、假令ひ獨逸の勢力を藉らざるも、容易に此等の邊疆地方に侵入するを得べき也。而かも況んや獨逸の後援と使嗾とあるに於てをや。故に支那にして帝國指導の下に、我と提携して東邦平和の任務の一半を分擔せむと欲せば主として我と軍事的協約を締結し、我が帝國陸軍の援助に依りて、先づ此等方面の防禦を嚴にせざる可からず。

○苟も支那にして、我が帝國と提携し、共同作戰の方針に出でむと欲せば、翻然として茲に自覺し、南北の紛爭を一掃し、北方派も南方派も、齊しく我が帝國指導の下に一致し、統一するの道に出でざる可からず。我が帝國も亦此の曠古の變局に際し、確乎不拔の方針に基き、斷乎たる政策を執り、帝國指導の下に支那を誘掖し、南北兩派の聯合一致を圖り、之をして、我が帝國と共同作戰の態度に出でしめざる可からず。要するに支那の存亡は、東邦全局の治亂に繫る問題にして、獨逸の東漸を未然に防ぐは一に日支兩國の共同作戰に待つの外之れ無ければ也。

○然るに支那が、東邦平和の危機に頻し、國家的自覺の精神を發揮する能はず、徒らに蝸牛角上の兒戲を演出し、殆ど全局の大計を顧みるに遑あらざるの觀あるは、吾人の遺憾とせざる能はざる所也。吾人は此際に於て現內閣當局者が、從來の如き內政不干涉主義を墨守せず、寧ろ積極的支那指導の根本方針を確立し、如何なる困難に遭遇するとも、之を實行に顯はすの明決果斷に出でむことを勸告せざるを得ず。是れ即ち帝國の出兵をして其の意義あらしむる所以、其の精神あらしむる所以。亦實に東邦平和の使命を全うする所以の第一義也。

◎市川參謀長歸任
太沽方面へ出張中なる軍司令部參謀長市川少將は十六日午後八時五十分龍山著歸任すべし

◎高橋武官歸任
東上中たりし總督附武官高橋陸軍少將は十四日夜歸任せり

◎金澤博士動靜
來鮮以來南鮮地方出張中なりし金澤博士は十三日木浦より入京京城ホテルに入りしが十五日總督府に出頭後參事官分室を訪ひ事務上の打合せを爲したり來る十七日頃平壤方面へ出張の筈

◎三田技師退官
總督府商工課鑛務課鑛業主任として多年朝鮮鑛業の發達に盡瘁したる總督府技手三田伊三郎氏は本月十四日附を以て總督府技師に昇任せしが同時に官を辭し京都に本社を置ける東亞鑛業株式會社の京城支店長に就任することゝ成り十五日朝京城出發京都に向へりと

◎京城府事務官後任
京城府事務官たりし石原留吉氏新義州府尹に榮轉したる爲め京城府事務官一名の缺員を生じたるが十四日附を以て別項辭令の通り總督府土木課勤務服部豐吉氏府事務官に昇進石原氏の後任として京城府在勤を命ぜられたり

◎大邱
▲品評會　慶北道大邱府にては來る二十八日より三日間慶北道立普通學校に於て小作米品評會を開催する筈なるが出品點數は粳三百點大豆百點計四百點にして同會期中優良小作人の表彰及慶事講話會を催す由 ▲生徒募集　慶北道製紙場にては大正七年度に於ては生徒若干名を募集する由なるが應募者は十八歲以上の男子にして修業期間は一個年なりと ▲金融組合理事　慶北迎日郡浦項金融組合理事一色英一氏は七日附を以て依願免職となり後任として忠北忠州地方金融組合理事見習鈴木伊勢治氏不日著任の筈 ▲東亞煙草披露宴　東亞煙草會社にては大邱分工場設置披露の爲め十三日午後六時より料亭大和に官民五十餘名を招待し宴を催ほしたり

◎群山
▲學校組合會議　群山學校組合會議は九日午後一時より府廳樓上に於て開會大正七年度歲入出豫算案の提出ありたるも豫算案提出の順序手續に就て理事者側に於て遺漏ありし爲め三木議員は猛烈に難詰し當日の豫算案審議を拒否し光富議員其他多數議員の三木氏主張の正當なるを賛したるより理事者は遂に當日の豫算案の附議を撤回するの止むなきに至り緊急問題たる六年度更正豫算に關してのみ附議決定する處ありたるが十二日午後一時より更に組合會を開きて右豫算案を附議したるに結局委員附託となり委員として三木芳太郎、佐藤政次郎、楠田義達、横山與四郎、小林寅造氏等五名を擧げ十三日午後七時より委員會を開會したり ▲漁船內地出帆　群山朝鮮水產組合支部に達したる情報に依れば例年朝鮮沿海に來航漁撈せる長崎縣の漁業團所屬鮟鱇網漁船百三十七艘は同縣南高來郡多比良村に於て盛大なる出漁式を擧行し十二日既に艦隊相銜みて群山近海に向ひ出帆したる由なるが四月上旬頃蝟島到著石首魚、太刀魚の漁撈に從事すべく熊本佐賀福岡地方の鮟鱇網漁船も十二三日頃蝟島近海に向け出帆したる筈なりと

人事消息
▲前田昇氏（高等警察課長）新安州へ巡視中の處十五日朝歸任 ▲塚原彥一氏（元京畿道理財係主任）今回帝國銀行に入社 ▲潮水彥四郎氏（營林廠庶務課長）十五日朝入京龍尾へ ▲小林東鐵重役　十五日朝入京巴城館へ ▲石塚木廳寺住持　十三日內地より歸來

彼れ此れ
◎哈爾賓の日本出兵反對論者曰く、日本出兵地域が、貝加爾附近迄とせば、同地迄哈爾賓より一週間を要す。通路は人煙稀薄、日本兵は必ず、糧食不足なれば、之が後援極度の、糧食の携帶を要す。之に加ふるに、單線鐵道を以てするは、容易ならずと。單線鐵道の輸送力不足は、論者が我兵の進出を危險視する、第一の點なるが如し。然れば此の單線の、輸送不足を唱ふる論者が、露軍の大集中を說くは、何の根據ありや。論者の所說は矛盾し、且つ要領を失せり。

◎大戰以來、歐洲にては姙婦、殊に兒童の風甚しく、兒童途に姙婦に遇ふ際、敬禮するとは奇觀也。就中佛國の敎會にては、指輪を贈つて多產を表彰すとは、多產階級には、嬉しき極樂淨土也。

◎レニンは露都の陷落に對して吾人何ぞ憂へんや、斯の如きは一社會革命の大局より打算して、一顧の價値なしと、傲語す。彼は露國有數の學者か知らねど、流石無茶苦茶の、本家たるを失はず。

◎獨逸は、レニン一派を使嗾し、我に向つて、產業的革命を、惹起せしめんとすと、相も變らぬ手段、我に何等の恐ろゝ所なし。而して益々油斷あるべからざる也。

十一月一日發行

●李王世子殿下 鳥居坂の新御殿

＝三月中に竣成する　近き御婚儀の第一の準備

既電の如く李王世子殿下の鳥居坂御殿は譜請中なりしが愈々來る三十一日には第一期の工事が内外共に竣成する事になつた、それでも昨年十月の大風雨の爲めに出來映が三箇月許り延引した、此の譜請は云ふまでもなく

◆王世子殿下が近く梨本宮の第一の姫宮と婚儀を行はれるに就ての第一の準備である、今右譜請の大體を記せば、最も其筋で心を籠められたのは王世子殿下の書齋と御座所で御座所は十疊四間より成り、其の四間の外に廊下を隔て、書齋がある、書齋は便利のやうに四面に窓と書棚が工夫され此の間のみは

◆洋式の建築を加味されてある、又前記の十疊の間の襖、椽側の障子等は朝鮮特有の意匠を加へ、外縁はガラス戸を立て、純白のカーテンを引くやうになつてゐる、次に妃殿下の御座所は王殿下の十疊の間の第一の間から廊下續きで、杉戸一重の隔りにある、王殿下の

◆御座所は平家建であるが此所は二階建で、階上階下共大小四間づゝに別れ、その建物に續いて湯殿、御納戸があり、其西に殿前の間があり、其の間の奥に土藏が建てられてある、外に御局が一棟あり二階建で主なる女官の室と其次の室とが、大小三通りに區別されて建築されてある、是等の御内儀は別して隅々迄も第一に

◆衛生に注意せられ、光線や風通しや朝夕賓用向の便宜には、凡そ現代の日本式の家屋建築に適用すべき限りを盡したが、然し質質は凡て質素を旨とした、尚ほ王殿下の居間は奥庭に面し妃殿下の居間の前には一面の梅林があり、梅林の一隅に富士見の臺と呼ばるゝ小高き亭がある、それに妃殿下の

◆御殿の二階からは芝麻布の一帶が給のやうに見ゆるとの事である、以上の外第二期の建築として表御殿とも云ふべき接見所其他の西洋館一棟並に正門等が建築される筈である

●滿洲よりの珍客＝張督軍の愛孃　滿洲に時めく奉天督軍張作霖氏の娘にして[illegible]夫人は新郎[illegible]氏（[illegible]の男）と今回芽出度新婚の式を擧げ相携へて日本漫遊に赴く可く十四日夜入京朝鮮ホテルに投宿十五日は朝鮮銀行差廻しの自動車で朝鮮銀行を參觀し金谷園で晝食を濟ませた後昌慶苑を觀た寫眞は朝鮮ホテル玄關前に於ける一行左端毛皮を手にせるが[illegible]夫人中央[illegible]氏右端[illegible]氏

●伊豫丸 ―歸還―

三隻の敵潜航艇に追撃さる

倫敦より歸航の途カナリー ング島附近に於て獨逸潜航艇三隻の追撃を受け幸くも虎口の難を脱出せる日本郵船歐洲航路伊豫丸は右田船長、福島軍醫少監、津田臺灣軍中佐、總督府技師等を乘せて長航恙なく十四日朝神戸港に安著せり（神戸特電）

●遭難露船は浦鹽義勇艦隊のヤーナー號なり

乘組員全部無事

既報全南沖にて遭難せる汽船は露國浦鹽義勇艦隊所屬汽船ヤーナー號にして舵機及び推進機を折損して坐礁せるも轉覆又は沈沒の虞れなく乘組員は全部無事なりと而して之が救助の爲め同國義勇艦隊神戸出張所にも打電したりと（釜山特電）

●遼河解氷

廿日頃より運航

連日の暖氣にて遼河解氷を初め流氷甚しく營口に於ける本年渡航船の運航は廿日頃よりなるべしと（奉天特電）

●嚴妃生家の相續權確認訴訟

原告は嚴柱明氏

王世子殿下の御生母に當る嚴妃の本家に於て嚴妃の父母祖父母に對する奉祀孫問題に就き嚴俊源氏の男嚴柱明氏は京城府貫鐵洞三十五番地元の軍部協辦嚴柱益氏を相手に取り辯護士大久保雅彦崔鎭兩氏に委任して京城地方法院に家督相續權確認並に民籍抹消手續履行請求の訴訟を提起し被告嚴柱益氏は辯護士張燾氏を代理人として

◆之に應訟し　十四日を以て第一回の公判を開き原被兩告の口頭辯論ありたり今原告嚴柱明氏の主張する處に依れば嚴妃の生父たる嚴鎭三は鳳源、鶴源の二男を設けたるも結婚後二人共子を設くるに至らずして死亡し鎭三も其後程もなく死去し鎭三の後には祭祀を司るべき子なく長女として嚴妃と其下に二人の女ありしのみなるを以て鎭三の夫人朴氏は其の夫並に

◆長男の後を　嗣がしめん爲め明治二十三年八月を以て其の侄嚴俊源氏を次養子となすに至りたるを以て嚴俊源氏は其家の戸主となりて一切の家事を處理し養母朴氏死亡の時は喪主となり又其子を設けて其家の後繼たらしめんとするに當り明治二十九年十月十九日に至り原告嚴柱明氏を設けたるを以て朝鮮古來の慣習に依り嚴俊源氏は嚴柱明氏を養兄鳳源の祭子に立て自身は

◆再び生家に　歸るか然らざれば次子として其家に居ることゝせり然れども只だ嚴柱明氏が未だ幼少なるを以て代りて祭事を司り來りたるが被告嚴柱益氏は嚴俊源氏の養兄たる鳳源の再從侄なるに明治三十四五年の交宮中に出入の際嚴妃親家の侄の如くなり鳳源の養子として民籍に登録したり然るに朝鮮の舊慣に依る鳳源の養子たるべき柱明が成長して

◆親ら祭事を　司り得るに至りたるを以て原告は被告に對して鳳源の養子たる民籍の抹消を請求したるも應せざるより此の訴訟を提起するに至りたるものなるが兎に角嚴妃本家の奉祀孫に關する問題なるを以て嚴氏の一門に於ては訴訟の進行を非常に注目し居れるものゝ如く原告嚴柱明氏は王世子殿下の學友として目下東京士官學校に在學中なりと

●坑夫爆死

携帶の綿火藥爆發して

黄海道銓津郡馬山面大倉秀坐鑛山坑内にて三月十日午前十時頃坑夫頭の箇成龍（三八）は火藥取扱人兼子末松より綿火藥五箇雷管導火線等を受取り之れを坑夫に配布せんと坑内を通行の際如何なる原因なりしか俄然爆發して全身を吹き飛ばされ片足は切斷されて慘死を遂げたり

●佩劍を奪ひて

強盗押送中逃走を企つ

全鮮を荒し遂に昨秋晉州警察署山上刑事に逮捕されたる有名なる安大將事安範成の部下にて李化伯事李今泉（三）は強盗數犯の前科者にて行衛嚴探中の處釜山鎭に同類の崔相文（三〇）方に居住なし居る事を探知し晉州支廳より釜山署に捕縛方を依頼し來りしに依り同署にて直に逮捕し三千浦署に押送し同署より晉州支廳に巡査一名附添ひ護送途中李今泉は泗川にて中食の際巡査の隙を仰び突如佩劍を奪ひ拔刀し抵抗しつゝ山中に逃走せしに依り巡査は直に泗川憲兵隊に急報し應援を乞ひしに依り分隊長以下總出にて驅附け捜査中折柄山獵中の某氏が之れを知り筒先を向け威嚇せし爲め流石の不逞の惡漢も刀を投げ出せしに依り驅附けたる憲兵と共に漸く逮捕し憲兵及び警官數名にて晉州分監に護送せり不日公判開廷の筈（晉州）

●生活難より一家斬殺

宮城駐在巡査

宮城縣桃生郡北村駐在所巡査酒匂芳之助（四〇）は生活難の壓迫に得堪へず遂に妻子五名を斬殺し己れ亦自殺を遂げたり（仙臺電報）

●出獄して逮捕

強盗犯嫌疑にて

住所不定李道善（三六）は窃盗犯にて晉州分監に入監中刑期滿ち十三日放免されしが晉州警察署にては何彼の捜査中なりし某強盗事件犯人の嫌疑あるに依り出獄を待ち分監門前にて捕縛の上嚴重に取調中なるがその態度に徴し餘程の惡漢にて餘罪ある見込みなりと（晉州）

●檜山女學事件落著

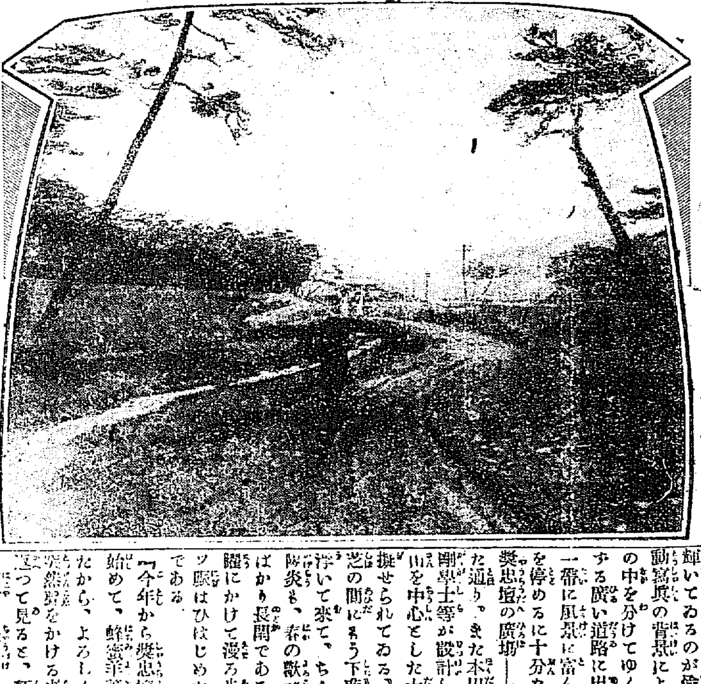
名古屋檜山女學校長事件は原告より取下覺書を交換して落著す（名古屋電報）

●濠に墜て負傷

京城大和町一丁目須藤泰助（三六）は十四日午後九時二十分頃黄金町三丁目にて光熙門行きの電車に乘らんとして走り寄りたるに折柄同所は道路工事の爲め濠を穿ちあり其の危險を防ぐ燈火あるにも氣附かず深さ七尺位の濠中に墜落し右鎖骨を折傷し顔面其他數箇所に擦過傷を負ひたるを最寄交番の巡査が救助して旭町の瀬戸醫院に入院せしめ目下加療中

●置屋の小火

京城清進洞百四十番地妓生置屋河松雲方より十四日午後九時過ぎ發火して大事に及ばんとせるも常備消防隊が馳付け時消止む



●奬忠壇へ―小島の辭一つ聞へぬ靜かな松林が續いて[illegible]細い[illegible]が陽の目を斜に受けて活々と輝いてゐる―

◎春を！―訪ねて―

◇奬忠壇へ（[illegible]）

ドーン、ドーンと初午の太鼓の音のやうな、大まかな緩い太鼓の音が、すこし間をおいては、またゆつたりと、暖を破つて、聞ゑてくる、芝居の時とするとそれが死かも、人寄せでもあるやうに、ドドド、ドド、と早目に刻んで鳴り響いてくることもある、巫女の家の祈禱の太鼓である

その鈍重な太鼓の音も、朝となく夕となく、終日鳴りつゞけて居れば、春を迎へのそれのやうにも聽ゆる、こゝ奬忠壇にも春が來たと、名物の連翹の蕾はまだ固く、黄色の綻びそむるまでには大分間があるやうだけれども、巫女の家のあたりから奥に行けば、雲母のやうな殘雪の底から、ちよろちよろと音を立てて、流れる谿川の邊りにはさうさうと吹く春風に人招き顔な猫柳が、芽を吹いてふつくらと膨らんでゐるのを見る

巫女の家の前から、奥の方へ行くと赤土を固めて高く盛り上げた三間幅の立派な道路が出來てゐる、その路の下には小島の辭一つ聞かぬ靜かな松林が長く續いて、薄赤い鱗をつけたやうな細い赤松の梁が、春の日を斜に受けて活々と輝いてゐるのが愉快に見ゐる、活動寫眞の背景によく見るやうな森の中を分けてゆくと、往十里に通ずる廣い道路に出る、このあたり一帶に風景に富んでゐて行人の足を停めるに十分なものがある、

奬忠壇の廣場―京城府の計畫した通り、また本田靜六博士、田村剛學士等が設計した理想通り、南山を中心とした大公園の大運動場に擬せられてゐる、その廣場には枯芝の間にもう下萌ゑの色が淡緑に浮いて來て、ちらちらと燃ゑたつ陽炎も、春の歡びにほゝゑむかとばかり長閑である、土曜日から日曜にかけて漫ろ歩きの人でボツボツ賑はひはじめたといふのも、春である

「今年から奬忠壇の入口で養蜂を始めて、蜂蜜羊羹を賣り出しましたから、よろしく―」後ろから突然聲をかける者があつたので振返つて見ると、新券番か京城券番で箱丁か帳付をしてゐた、何やらいふ男が頭を下げてゐた、奬忠壇にも今年はビール、サイダー果物位賣る店が出來るさうである。

讀者文藝（一等には五十錢の各種券を呈す）

▲下句付『春先きは』

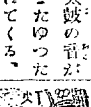
○花が折りたい氣にもなり（一等）　京城若草町一二二　窪田いつ子

○[illegible]　南山町　川島

○[illegible]かすむ　太平通　南筑

○[illegible]　黄金町　兎角

○[illegible]の[illegible]び時雨　京城　夢想　兵



▲十三日龍山憲兵分隊の補助員が歩いて居ると其處へ黒の著物を著た四十許りの男がやつて來て▲我輩が臨檢を施すから用意をしろ▲と言濟を行ふ[illegible]ながらの命令に補助員的切りと分隊に引張つて來て檢べると▲我輩は福岡縣筑紫郡眞栖町浪花節語り天中軒吟月事山本森三郎と名乘りを擧げて取り止めもなく大風呂敷を擴げるが三十三歳なりと思へば憲兵のサーベルを見て殺すなら殺せと浪花節文句宜敷あつて坐つて頸を差しのべる始末に▲ほと〳〵持餘し其夜は留置所に拋り込んで置いて翌朝引出して見ると瞬手の小指をがり〳〵噛み切つてあるので騷しつすかしつ調べて見ると▲二三日前平壤から來る途中脅迫觀念に襲はれて夢中で嚙み切つた事が判つたが此のキ印は暗に汽車の後を追ひ歩くので其筋でも愈々物騷がり十四日病院に送りつけたが猛を買て待てゐるから御機嫌を取り乍ら總督府病院に送りつけた

課題及募集規定

□募集規程▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

商況

東京期米特電

十五日後場　一番　二十六圓十三錢　二番

兵庫期米

十五日前場　先限寄付　二十五圓九十五錢　九十七錢　二番　三番

大阪三品特電

十五日前場寄付　三月限　三五七、〇〇五　四月限　三六一、〇〇〇　五月限　三六五、六〇〇　六月限　三六八、八五五　七月限　三六九、三三五　八月限　三六八、七七五

大阪期米特電

十五日前場　中限寄付　二六、二二　先限寄付　二六、〇一　三節　五節　二五九八

下關期米特電

十五日前場　各地氣崩れ大引[illegible]

雜報

◎綿糸布好勢　大阪三品は更に好勢

綿糸布更に好勢　米綿一圓五十錢の高な入れ今朝は[illegible]現物は[illegible]

綿布龍レ　一十一圓〇五錢　二十三銘十一圓　二十錢

◎製粉先見越　内地製粉大手筋[illegible]

新粉の取引五圓　四十五錢の高値　七八月渡

◎正米安持合ひ　再び活躍　相場下澁

◎白米下押す　材料次第で動く

二十錢安の三十六圓七十錢

鮮白

◎雜穀一齊軟化　方暴落せり　約七八十錢　下押模樣　豆類更に

◎粉米裙物低落

◎出鉛板不味

▲出鉛　▲安質母尼

◎雜鑛類近況　▲鉛

依然好況　支那粟

五十錢乃至七八十錢方暴落し小麥　大麥

下關相場　錢方暴落せり　遂に四十

▲朝鮮米も氣甘し　其後白米二百七十七叺の到着に過ぎざるも[illegible]

▲小豆は[illegible]

各地商況

群山正米（十二日）

▲群山正米[illegible]

▲朝鮮一等白米	（當用）	二十八圓二十錢
同		二十八圓[illegible]
▲朝鮮黑豆上品		廿一圓五十錢
▲鐵山大豆		廿一圓[illegible]
宜川大豆		廿一圓四十錢
元山大豆		廿一圓五十錢
同 ボケ青大豆		二十圓八十錢
▲德川碑大豆		廿一圓九十錢
同		二十二錢

南大門の廻穀

▲大邱（十四日）

仁川正米

釜山穀物（十三日）

仁川期米

十五日前場（頭重し）

▲第一節　兵庫二十五圓九十五錢

大阪天候曇天　前場二十六圓

〇一昨止より九錢高　先二十一圓九

十八錢と七錢高　寄付く

頭重き保合の裡に

十五日前場寄付

市場雜觀

仁川米豆取引所

十五日の五月限

前場	寄付	高値	安値	引け
一節	二十一圓九十八			
二節	二十一圓九十九			
三節	二十一圓九十二			
五節	二十一圓九十五			

十四日後場　前日と比較

三月限　四月限　五月限

小賣白米

現金賣　一等白米　二十七錢五厘　二等白米　二十七錢

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　仁川海岸町三丁目　電話　[illegible]

仁川米豆取引所　大五仲買店　店主　[illegible]

仲買店　仁川米豆取引所仲買人　新規仲買

▲三名增員の件

漸く其筋の認可

天氣

晴れ後曇（十五日午後六時より十六日午後六時まで）

三月十六日　日出　六時[illegible]　日入　六時[illegible]

大阪期米

寄付大阪の上寄りを受け九錢と後は一節二十一圓二十二圓一錢二錢一鍋二十二圓二十二圓[illegible]

仁川に檢査した米豆

◇搬出したる米豆數量の各地別◇

◆米　二月中に於ける仁川米豆檢査所管內玄米其他檢査成績は玄米總數二萬二千六十五叺大豆三萬二千六百七十二叺中白米百六十七叺なるが各檢査所の檢査成績に就て見れば左の如し

	總數	二等	三等	計	不合
仁川	二〇、八八八	一、四四八	一八、七二〇	二〇、一六八	七二〇
平澤	二五五	—	二四三	二四三	一二
水原	六八一	五四一	一四〇	六八一	—
烏山	二四一	—	二〇八	二〇八	三三
合計	二二、〇六五	一、九八九	一九、三一一	二一、三〇〇	七六五

而して三等合格品中に夾雜物多量の爲め再調を命じたるものは八百四十四叺容量不足の爲め入桝を命せるもの八叺包裝不良改裝を命せるもの三百十叺あり之が產地別を擧ぐれば仁川一七、七九一忠清南道二、〇一二水原一、〇三四富川郡四八二振威郡三六六其他仕向地の主なる場所は大阪二萬百十四、下關三百五忠清南道大田二百三十一釜山百九十六其他なり中白米の檢査數は仁川七十烏山九十七叺計百六十七叺に過ぎざるも

◆大豆　の檢査數量は三萬二千六百七十二叺にして其の各檢査所別を示せば左の如し

	數量	二等	三等	計	不合
仁川	一二、九一四	三二四	一二、四一七	一二、七四一	一七三
平澤	二、五〇七	一九	二、二七九	二、二九八	二〇九
水原	七、九五三	二〇三	七、五六八	七、七七一	一八二
烏山	一、三七九	—	九〇一	九〇一	四七八
高浪津	三、五六七	三三	三、一九九	三、二三二	三三五
西氷庫	四、七八二	三八六	四、三九六	四、七八二	—
計	三二、六七二	九六五	三〇、七六〇	三一、七二五	一、三七七

合格品中夾雜物多量の爲め再調を命せるもの三百七十五叺容量不足の爲め入桝を命せるもの五百三十四叺包裝不良の爲め改裝せるもの五百六十五叺にして其產地の主なるは水原七、三四〇忠清南道五、五二五黃海道三、八三五長湍二、七二四高陽一、八三九坡州郡一、七一九抱川郡一、八八七振威郡一、六二〇龍仁郡一、四〇〇安城一、一二九長湍郡一、〇六八其他計三二、六七二之が仕向地の主なるは下關五千三百三十九叺釜山三千二百六十二兵庫二千二百八十五汐留一千六百九十八神戶一千十七大阪一萬六千七百三計三萬一千四百四十二なり尙ほ

◆搬出　數量は玄米平澤二萬二千八百二十六叺水原三千五百二十烏山四千七十七計三萬四百十八叺大豆水原三百六十八烏山五百五十高浪津四百九十八にして合計一千四百十六叺なり

大連より

○滿蒙に對する我經濟力の充實は近來著しきものあり今年の解氷と共に多年計畫され來りたる各種の事業着手せられ久しく問題たりし滿蒙問題に對し實際的に解決を爲すべき機運に向ひたり之が策源地たる大連に於ける經濟界の緊張せるも亦當然の事なるべし

○從來龍口に本店を有したる大連龍口銀行にては今回增資と共に本店を大連に移し新たに有力なる支配人を迎へ全然日本商法に由る銀行として活動する事となり滿洲奧地及び山東各地に支店を置き日本內地各銀行との爲替取組を訂したりと

○普蘭店に本店を有する遼東銀行は從來地方農商民に對する小口金融銀行と目せられ居たるが近かく大增資を行ひ主力を大連に置き經濟界の膨脹に鑑み一大飛躍を爲すべしとの事なり

○正隆銀行に於ても近かく全額拂込み後直ちに一千萬圓に增資し來るべき經濟界大發展の需給に備ふべしと猶朝鮮銀行に於ける活動は滿蒙經濟界の總背景として近かく更に山東及び滿洲各要地に支店出張所の新設を見るに至るべしと

○大正七年度に於る滿洲事業界は斯くの如き金融界との整備と後援の下に大活躍の舞臺に上らんとしつゝあり從來は實力の伴はざる滿蒙開明論のみなりしを以て其の前途の遼遠なるを思いて徒に歎息し或は全く絕望的言議を爲すもの鮮からざりしが近來我經濟力の充實と共に不言實行的に著々と其の效を收めつゝあるは眞に悅ぶべき現象なり

○滿洲在住邦人が頻に憂慮し居たる朝鮮米の輸入制限も案ずる程の事もなく案外簡易に解決し滿洲邦人に對して不安なく其の需用米は供給せらるゝ事となり都督府にては朝鮮總督との契約條件に鑑み管內に輸入せられたる米の再輸出を禁ずべく近かく之れに關する條例を發布すべしとの事なるが猶一歩を進めて在住民の爲め時局其他の關係上米價の暴騰を防止むべき方法の實施を希望して止まず

○大連市は土地の狹隘と建築の比較的平低なる爲急激なる人口增加に堪へず新たの移住者は住むに家なき有樣にて家賃の高き事は日本內地の都市は元より各植民地の都市に於ても其の類例を見ざる處なり斯くの如くして底止する處なき上の發展を見る能はざるべし此の際土地貸下法及び建築規定を改むるか或は公設貸家の如きものを設置するの必要あるべし

安州炭の近況

◆需要期經過と大口取引

近時石炭界は一般に需要期經過に伴ひ需要激減し今や殆んど個人用としての販路なく漸く實際の需要期に迫り向後は製產業或は製造業者間に大口取引を行はるゝに至れり然りと雖も目下滿洲地方に於ける人夫賃高率を唱へ居れると一面春陽長閑なる昨今の氣溫は一般人心を喚り彼等人夫の滿洲出稼者多く隨つて安州炭鑛の如き人夫に拂底を生じ若干の掘採減を見つゝあるの現狀なるが昨年中の採炭量は實に四萬噸を越ね非常の好成績を收めたり而して之が販路は京城方面五割平壤三割五分京義沿線鎭南浦其他各地を通じて一割五分の比例を保ち聲價各地に昂く朝鮮產と比して第一位を占むるに至れり市價は客月より一圓落の噸十五圓見當を保ち合へりと

安州大豆改良

安州市場が平安南北奧地に於ける優良物產たる大豆の出廻地なれば安州郡廳に於ては這般大豆の改良策として種子の選擇を嚴重にし品種の統一を計るべく一農家より一部落より一地方に對し順次其目的を貫徹すべく大體市場に集るは種類の善惡を不問且包裝の如きも良不良區々にしてこれが爲め內地輸移出の點に於て聲價を落すこと常の狀態なればこれが改良方法として市場に出づる大豆に對し品種及び良不良各等級別に選擇し包裝せしめ一面包裝叺の製作にも改良を爲さしむるの方針なりと

平南の蠶絲業

大正六年度に於ける平安南道の家蠶絲生產額を見るに製造者數六、四五七人生產額二、一八一貫匁なり前年度に比較して製造者四千百五十七人生產額一千六百九十一貫匁の減少を見たり因に本年の繭價は稀有の高價なりしを以て生繭の儘賣却する方有利なれば生繭にて販賣せし者著しく多數なりしに因れりと

解船賃値上げ

◇愈々三月十五日から實施

仁川に於ける解船賃値上げの必要なるは既に再三報せし處の如くなるが今回愈々之が値上げを實行する事となり去る組合總會に於て二割乃至三割の値上げを實行すべしと而して此の値上げを實行したる解船賃率は稅關構內よりの運賃は穀類一噸約八十四錢にして倉庫上りのもの九十錢其他雜貨は噸一圓四錢に相當すべく而も之を他港の賃率に比較すれば尙ほ著しく低廉なるものあり當業者に於ても到底不引合を免かれざるも一時の値上げも躊躇せらるゝものありと云へば何れ夏期に至つては或ひは再び何等かの方法を講ずるの必要を生ずるに至るべし

◆最近解船の減少したる　數は約十四五隻を算し實に六百乃至七百噸の減少を來せり之れ從來仁川に於ける解船の不引合に基くものなるも將來は賃率の値上げに依りて此の減少を幾分防止するを得るに至るべし

中學校入學者

本年仁川公立小學校より京城中學校へ入學志願者は三十二名にして其內合格したる者二十二人之を昨年の成績に比較すれば昨年は二十三人の志願に對し十三人の合格あり本年は募集生徒の多數なるだけ其の成績も亦良好なるが如く學年別を示せば左の如し

高等一年志願者六人(合格者六人)尋常六年志願者廿六人(合格者十六人)

飯代の値上げ

◇幾分要求を容るべし◇

物價騰貴殊に米價の昂騰は近日に至つて殊に甚だしく之が爲め一般の生活に甚大の打擊を蒙つて居るのは云ふ迄もないが別して勞働に從事する人夫の如きは多量の糧食を要するだけ米の値上げは著しき影響を蒙ゆるに相違ない

▼仁川で荷役　に從事する本船行の人夫は此際飯代を値上げして吳れとの要求を持ち出した從來彼等は普通六十五錢位の勞銀を貰つて其外に飯代と云ふものを一食六錢の割に貰つてゐた而して最近では米價騰貴で飯代の八錢を給しつゝあつたのであるが更に昨今の昂騰に伴れて飯代も十一錢五厘を吳れとの要求である之等は目下の諸物價昂騰の際で無理からぬ事であるが要求の全部を容るゝやは勿論疑問で或ひは十錢位に値上げをする事となるかも知れぬ

▼勞働者こそ　は先づ現今では本船の人夫が最も收入が好いと云ふ事であるが陸上の仲仕も相當の者になると八十錢或ひは一圓と云ふ勞銀を貰つて居るから比較的生活には餘裕があると見られる之を以て見れば現在の生活難は薄給に生活する下級官吏其他月給生活者に多いと云ふ譯である

紫インキ

のんびりした春の日に各商店の硝子戶は皆な開け放された▲夏物、春物が所狹き迄に堆高く積まれてゐるが、薄暗い店內には、覗くと就中最も行人の視線を惹くのは、急にショーウインドウの體裁が一變した事であらう▲冬物の重苦しい物は、輕快なパラソル、帽子、艶美な化粧水の美、洋酒類といふ野遊的な物に逐はれ、いつしか陰鬱な翳は消ねある明るみを含むで來た▲もう世間が立派に春期に入つた事を象徵されたので追々ショーウヰンドウ戰も劇烈になるのである▲町幅の狹い陰險な場所を、それ〳〵苦心もあり意匠も種々凝らされ、またそれによつて店の一斑も窺知されるのであるから商人としても一通りや二通りの苦勞ぢやない▲愈々行樂の季節に入つたが諸物價の狂騰は怒るべきダンピラを振りかざして、人々の生命を窺ひ寄る、成金以外は誰しも如何に運翔が美しく咲かうが、山が笑うが、鳥が歌はうが、そふして〳〵一本卅五錢のビールのレツテルすら眺められない窮ろ悲慘を通り越して何と言はう(平壤)

料理の秘訣(一)

安價な材料を求めよ

多年の經驗に加ふるに常に新らしい工夫と研究とを怠らぬ某夫人に就て其家庭の料理法の秘訣を聞いた儘次の如く記した。これは世帶持ちの若い奥さんの爲めにも經濟的にも實行されて居る有益な料理に學ぶ可き所が多いと信ずる

◇走り物を買ふが一番不經濟

料理を經濟的に拵へるには先づ安い食料品を買ふと云ふ事であります。如何に料理の點に於て經濟的に工夫を凝らしたからと云つても若し材料となるものが不廉かつたならば折角の苦心もそれ程の効果が上りません

◇それならば什うしたならば安い物が買へるかと云ふにそこはなか〳〵至難しいところでありますが、むづかしいだけに大いに行り甲斐もある譯でございます。第一に安い物と云つてもただ値段さへ安ければ品はどんなものでもよいかと云ふにそんなわけには行きません。尤も世間には品物に就ては少しも吟味せず

◇値段ばかり値切り張ばす方もあります　假令へば夜など莫迦に安い野菜物を買つて歸つて喜んで居ると日數がたつて萎れてしまつて居るのを水をかけて見映ゑをつくつたばかりで折角買ひこんだものも捨溜に捨てるより外は仕方のないことがあります。ほんたうは品がよくて格安でなければなりません料理を經濟的にと望む方の

◇第一の禁物は珍らしい走り物などを用ひることであります。寒中筍や氷の下の魚などは確かに珍らしいものには相違ありませんが、こんなものを求めた日には經濟料理なぞ夢にも出來るものではありません。そんな極端でない迄もまだ寒い頃溫室作りの胡瓜を賞味したり

◇指ほどの筍で食膳を飾つたりなどしてはとても經濟のたつて行く道理はございませんそれにまた物の味と云ふものはほんとの季節が來なければつくものではありませんから珍らしいと云つただけのことで、ほんとの味を賞味する事は出來ませんですから。胡瓜にしろ茄子にしろその他なんの野菜でも又は何の魚でも

◇ほんとの味のある時(旬は一番の出盛りの時)即ち一番安い時なのでありますそれ故にほんとの經濟と云ふ事をなさるはほんとに美味しい味のある材料を用ひれば一擧兩得である事がわかります次ぎにはそれならば如何にすれば安い物を買ひ入れられるかと云ふ事に移りませう

白山黑水

いつも北滿や西伯利亞方面の人から聞くはなしだが彼等はいつも日本內地の冬を寒い寒いと云ふ▲現に本年一度も滿洲方面は防寒の用意がよく行屆いてゐるやうであるが總じてあたりの人でも左右であるが外は身をきるやうに寒くても一度室內に入ると春のやうに暖かい▲それで日本內地のやうに開け放しの室內ではトテモ滿洲人は辛抱し兼ねるといつも聞くはなしである▲態度はなしはよく解り切つたことで其の寒さ外知られて居らぬ▲朝鮮及び內地の人々も大に北滿方面に出かけて然るべき今日此の防寒策の整つてるも怖るゝに足らぬことを切に〳〵お知らせしたい

台所　その日〳〵

◇嫩羊羹◇

寒天を水に浸け置き上げてかたく搾り薄く小さく裂き込み水を加へて火にかけ煮溶けたる時砂糖を加へ二三回沸騰せしめて他の器に漉し込み更に鍋に移し火にかけて漉粉を加へ撹きまぜつゝよく煉り詰めて火より卸しこれに水溶きにしたる寒粉を加へ適度に砂糖を加へて火に掛けよく煉り上げて火の上を去り寒粉を加へて煉り皆冷やして後三分の一位の所に切り置き鍋に冷やし置きたる寒天汁を少しく流し入れますから冷して材料が固まりたならば其儘冷やし固めて型より拔出し適宜に切つて供します

仁川期米

▲十五日後場　大阪入電未着にて當限二十二圓十錢先二十一圓九十三錢と一錢高に

△中限　四節二十二圓○四錢　△先限　一節二十二圓十三錢

十五日の五月限　後場　寄付 二十一圓九十三錢　止値 二十二圓九十錢　高値 二十二圓十錢　安値 二十一圓九十三錢

前釜山入港新羅丸一二等客……

十四日午後釜山入港對馬丸一二等客……

▲廣告▼

見逃告者には五十錢替を呈す▲氏名は何番何號と明記に限る▲京城日報編輯局懸賞係

公信株式現物部　九五商會　有田
勸業債券　六十八圓賣出

新築落成　ご大勉強　一日園　南山町二丁目(倭城臺下)　電話一四九番
本月十三日午前京釜急行列車水原驛より大田驛の間にて本人所有大田郡儒城面土地文券及實印入たる鞄遺失致候此段及廣告候也　京城府桂洞一二五番地　朴廣熙

產地直賣　五割安　大島銘仙　兩毛セル　綿大島紬　縞銘仙　兵兒帶　注文　桐生町　織物元

むすめ印　酢の素

時計貴金屬指輪眼鏡商　京城本町二丁目　三浦天龍堂　電話一〇〇二番

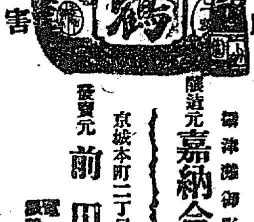
古著古洋服　諸物價騰貴の折柄精々高價に買入可申候間多少に不拘電話又はハガキにて御報次第早速御伺可致候　京城本町二丁目　江頭衣服店　本店電話一三二五番　支店電話九一七番　店員入用　十二三歲より十五六歲迄四五名但市內に保證人を要す

胃腸最新藥　チケスチン

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四二番　內科　小兒科　入院隨意　醫學博士　古城憲治　每日五名を限り無料施療す

新田帶革　朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行

大日本優等清酒　白鶴　品質純良　衛生無害　釀造元　嘉納合名會社　發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店



產科　婦人科　京城黃金町　電話一二〇番　醫學士　二宮亮吉　二宮醫院

百貫の石　正しき補血强壯增進劑　ブルトーゼ　(藥劑師中田裝勘創製)　發賣元　大阪東京　藤澤友吉商店

御料理仕出し　親子丼　折詰辨當　京城南大門集會所隣　福島屋　電話一五七四番

京城支店　株式會社百三十銀行　資本金壹千萬圓　頭取安田善三郎

內科　胃腸病　石川醫院　京城本町一丁目

眼病にアドラ目藥　定價十錢二十五錢　森昌製藥株式會社

實業獎勵　資金千圓進呈

京城　痔疾專門　入院隨意　久枝肛門病院

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第十七席

勅官承はつて直に小太郎に此の趣を通じる塚原も『左様でござるか、委細承知いたしました』と支度をして木劔を執直して其れに待つて居ります、處へ一禮を述べて立出ました龜井新十郎、一目見ると小太郎もア、之れは出來る人に相違ない定めし技倆美事であらうと察した、出來る人を出來ない人は一目でスグ分ります、新『手前は近江典膳と申す未熟者何卒お手柔らかに……』小『拙者は仁科與四郎、御同樣御手柔らかに願ひます』兩方僞名だが伎倆は異物、見物は水を汀つたる如く寂として此の一勝負如何あらんと固唾を飲んで見て居ります、此方は神蔭流の達人塚原勝義、後に卜傳流といふ一派を編出した位の人物、二尺八寸の木太刀を執つて立上る此方は西國にて鳳凰と呼ばれる龜井新十郎、二間柄蒲公英の槍を中段に構へて進み出で、ヤツといつてピタリ付けましたが双方の身體鶺鴒の毛で突いたほどの隙もなく新十郎はまた心中に之れは正しく塚原に相違ないと思ひ込みましたから油斷なく中段に構へた槍を段々に上げて行つて、遂に上段に直したが見物一同には此龜井の槍の上がつたのに氣の付いたものは一人もない、小太郎心中に不思議なる達人かな、中段其の位に構へた太刀先に對して槍を上段に構へるとは破天荒の仕業、何んといふ流儀か知らんが此變化は必らず下段に來るに相違ないと、更に油斷なく、ヂリ〳〵と詰寄り、双方氣を圖りヤツ〳〵ヤツと聲を懸け合つて居りました如何なる隙や見出だしけん、龜井新十郎上段に構へた槍をパツと下段に取直すと大喝一聲エイツと叫んで繰出した、其勢ほひ飛龍の波を破つて昇天する如く、目にも止らぬ早業、アヽヤ小太郎一突きと見ゐたる時、心得たりと飛び閃き木太刀を以つて拂ひ上げる、途端に手早く槍を引き再たび咽喉を目懸けて繰出し來る其早き事、異に電光の如く拂ひ落せば、手早やく引き轉せば突入る槍の妙手、宛然手の內の玉を投げるやう、繰込み繰出し出沒自在、かまでに烈しき槍先を、物ともせず小太郎勝義右かと思へば左に轉じ、陰に閉ち陽に開き、一上一下一應一來、千變萬化虛々實々數萬の見物我を忘れてドツと聲を上げ、暫時は鳴りも止ます、龜井少しく焦慮つて、エイツと一聲突き出したる槍左知つたりと、小太郎木太刀にて拂ひ除け、引く槍に突け入て流星の如く手許へ飛込み、大喝叫んで打下したる木劍、體を轉じて新十郎受けんとなしたれども激しき太刀先逃ばしつて龜井の槍の蛭卷より二尺ばかり打折つたるは宛然名刀を以つて切つたる如く、緊が龜井も氣を打れ、思はず後ろへ退がる處を、小太郎得たりと飛込んだる時には誠に新十郎の腦骨アワヤ碎けたるかと思ふばかり、見物一同アツといふ中にさはなくして新『エイツ』と一聲切折られたる槍の石突を大地に突よと見えしがパツと飛上つて其姿は掻消す如く消失せたり、多くの見物は二度吃驚〇『オヤツ近江典膳といふ男は何處へか消ねてしまつた』ア、彼は天狗だ、餘り仁科といふ人が強いから天狗が懲しに來たのだ』と槍を打折られて迚も叶はぬと思ひ飛んで逃げたものだ〇『成程其れに違ひない』勝手な事をいつて居る、併し全く龜井新十郎、小太郎のために槍を打折られ輕すると引くも閒がないから豫て戸澤山城守より學び傳へられたる秘傳を以つて空中へ飛上り、明神の拜殿の屋根を飛越ね、後ろの杉の梢に隱れて危ふき處を逃れました、之れ卽ち天狗昇飛切りの妙術であります

院長 醫學士 森定吉
（芙蓉醫院改め）
內科 小兒科 森病院
…入院隨意…
京城明治町二丁目七五（鶴川醫院跡） 電話二六二三番

三月十七日 九星
舊二月五日 癸壬
本命三碧 東成 赤口

[illegible]

演藝案內

京城壽町 壽座 電話五七八番
當る三月十二日より公演
世界的大魔術 松旭齋天一孃出演
天下一品との稱ある 自轉車大曲乘 師 橫井榮楠登場
プログラム……小奇術 自轉車曲乘 大魔術 飜譯劇 曲藝……奇術 臘用喜劇
登場人員男女二十名出演ス

本町五丁目 稻荷座
毎夜大入の爲十四十五二日間日延
原天華「京山圓玉」競演會
▲明治孝子傳（雲井齋）▲櫻川五郎藏（京山小玉）▲鍋島猫騷動（無相軒富士丸）▲水戸黃門（京山照圓）▲滿洲之花（原天華）▲赤垣源藏（京山圓玉）▲大久保タライ登城（京山圓玉）
▲十五日 南部坂雪の別れ ▲十二郎妻子別れ（圓玉）

京城本町 有樂館 電話（階上）五九七番（階下）三〇五番
▲滑稽 ヤクザ者 全三巻
◉人情劇 春鶯囀 全五巻
○新派劇 新らしき女 全四巻
[illegible]

明治町二丁目 浪花館 電話二六〇番
毎夜六時より開演
京阪落語若手一座語樂會
▲落語（遊玉）▲落語音曲（笑三）▲落語手踊（遊生）▲落語音曲（花橘）▲落語手踊（三輔）▲落語（右圓遊）▲落語手踊（歌六）▲落語、音曲（圓都）▲落語大切喜劇（惣出）

櫻井町 大正館 電話八七三番
○新派 劇 浮れ胡弓 全三巻
○大活劇 第七篇の爪 四巻上場
[illegible]

電話二三六三七 二三六六 黃金館
○舊劇 加藤清正 全四巻
○舊劇 江戸櫻虎五郎 全四巻
○泰西活劇 野火 全四巻
○乃木將軍慕婆の巻
[illegible]

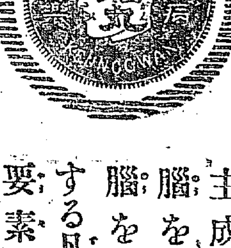
寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
京城日報社 寫眞製版部

京城本町 壽館 電話一〇五〇
當る三月十六十七兩日午後五時より
山村連春期大温習會
▲相生 ▲姫三社 ▲春雨 ▲京の四季 ▲狂亂 ▲越後獅子 ▲園の梅 ▲浦島 ▲御所車 ▲仕丁 ▲北州 ▲鶴龜 ▲老松 ▲相模海女 ▲喜撰 ▲嵜八
[illegible]

職業 原紙貸與、海外特許品、遠近男女自宅で出來る
以上實況寫眞說明見本郵券十錢送（特約東京本所郵便局前）
上田總本店

春さきには腦の工合が妙になる 大癥 有効 [illegible]

効驗は信用なり



偉大なる健腦丸の信用

健腦丸の主成分は腦を養ひ腦を健にする凡ての要素を完全に具備す!!

主効 腦充血 腦貧血 腦膜炎 中風 卒中 頭痛 逆上症 眩暈 健忘 神經痛 便秘 癲癇

特長 健腦丸を常に少量宛持藥とせば逆上を引下げ便通をよくし恐る可き腦充血を快治し中風卒中を未發に防ぎ記憶力を增進する特効あり

藥價 半週分 金四拾錢 壹週分 金七拾錢 貳週分 金壹圓卅錢 參週分 金壹圓八拾錢 五週分 金貳圓八拾錢 拾週分 金五圓

本舗 東京新宿町 大阪心齋橋 丹平商會藥房

汽車 京釜線（南行）（北行） 京義線（北行）（南行） 湖南線（南行）（北行） 京仁線 京元線（北行）（南行）
[illegible]

京城日報
十六日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

政府公司の此處置に對しては一般に憤慨し居れり、因に同公司は大連に於ける排日の根本として屢々問題を惹起せるを以て此際[illegible]相當の處置を爲す可しと(大連特電)

[illegible](三月十日共號者號)及友好の關係に於て[illegible]に決したる旨宣言し

五版

[illegible]に如何なる國際的[illegible]を附與す[illegible]事なかるべし該條約批准後は外交及び領事關係を再開すべく戰爭に對する要償は相互に之を拋棄す露獨間に締結せられたる條約をして無効に歸したるものは新事態及び[illegible]は本條約の批准と共に其効力を失ふべく債權に關する事務は再開せらるべし個人の蒙りたる損害を決定する爲め兩國は中立國代表者より成る委員會を[illegible]に設くべく[illegible]ランド島に關し該島に設けられたる要塞は速に撤廢せらるべく該島嶼永久の要塞を設けざる件は特別協定に依り文書は成る可く速に伯林に於て交換せらるべく本條約を[illegible]

[illegible]權利會社[illegible]株式會社資本有限會社其他商業工業及財政に關する會社及保險會社は各締約國の領土上に於て適法に認認せられ特に原告又は被告たるの權利を有す可く少くとも他國の會社[illegible]

[illegible]の有效期間內一九一四年[illegible]月一日現在の共通關稅率は獨逸に適用せらる可く以前稅金を支拂はざりし貨物に對する課稅に[illegible]右關稅率に引上又は變化を爲さゞる可し最惠國條款は鐵道[illegible]

[illegible]語料金二十五ペツヘスとし領事館の特權及び私人の法律上の保護を規定する爲め別に協定締結せらる可く一八七四年の露獨領事條約及び民事裁判に關する[illegible]

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金六十五錢△郵稅一ヶ月金拾五錢△前金に限り[illegible]
廣告料金 七字詰一行[illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話[illegible]

京城日報 戰局如何

客臘以來、獨逸西部戰線に集中し、大攻勢を取らむとすることを傳ふる頻々、英佛伊米諸軍これが對應の計を講じて油斷なく、世間皆此春期に於ける大決戰は、必ず西部戰線に於て行はるべしと期待しつゝあれども、今や三月も既に半ばなるに、敵味方共に持重して動かず、就中敵の攻勢なる者は、果して實現さるべきや否や、甚だ疑はしき節なきにあらず。

顧ふに獨逸は、露國の挫屈に依りて、幾分の利益を得たるに相違なく、其の露國戰線の兵を他に移すと亦自由自在なるべしと雖も、獨逸が其兵を露國戰線より他に移しつゝあるは、昨春以來の事にして、露國假政府倒れ、過激派政府成立せる頃には、既に其の移し得べきものを移し悉くして、若干の餘剩を留めざる筈なれば、昨年夏秋の交に於て攻勢を取らずして、却て退却を是れ事とした獨逸が、今日に及びて遽かに大攻勢を取るといふは、甚だ信じがたき沙汰ならずや、今春以來世人獨軍瑞西より巴里に進擊すべし、否伊太利を席卷すべしと云ふが如き、是れ亦臆測に過ぎずして、何等の根據なきや言を待たず、蓋し獨逸は現在の戰局に於て、有利の形を占むるも、其の實力銷磨して自ら支ふるに苦むの姿あり、其の戰線を張りて聲勢を高くするは、則ち斯くして協商國民を威喝し、之に依りて以て講和の機を早くせむとするものに外ならず、彼今や兵員の不足と砲彈其他軍需品の缺乏とに苦むのみならず、其國民を擧げて平和回復を渇望して已まざるなり、豈復た今日に及んで大攻勢を取りて、多くの犠牲を拂うて其戰線を擴張するを敢てせむや、其西部戰線の大攻勢なるものも、或は彼の虛影虛勢たるに終るなきを保せざるなり。

而して協商國側より之を見るときは、今日は決して平和回復を云ふべきの時にあらず、協商國の戰爭の目的は、中歐同盟を破壞して獨逸をして復た起つ能はざらしむるにあり、而して今や則ち如何。佛蘭西、伊太利、白耳義、塞爾維諸國の土地にして、今猶ほ敵の占領せらるゝものあり、露西亞、羅馬尼は屈辱を忍びて、單獨講和を講ずるといふ有樣なり、協商國側に男兒ありて存する限り、此情形の下に平和回復を語る能はざるは勿論なり、且英佛二國の力のみにては、此頹勢を盛り返すとは、容易ならずと爲すとも、今や北米合衆國の戰爭に參加せるあり、彼は當年中に百五十萬乃至二百萬の兵を西部戰線に出して、獨逸と雌雄を決すべしと稱す、米國をして十分其實力を發揮せしむるまで現狀を維持するも、猶ほ最後の勝利の協商國側に歸すべきは瞭歡の明白なる所にして、今日西部戰線に於ける英佛軍にして自ら攻勢を取りて進む能はざるまでも、現狀を維持して徐ろに米軍の至るを待つは、甚だ容易の業にして、獨逸は時々刻々、其疲困を加ふるを以て、我味方は則ち逸を以て勞を制するの地位にあり。

遊支偶錄 蘇峰生

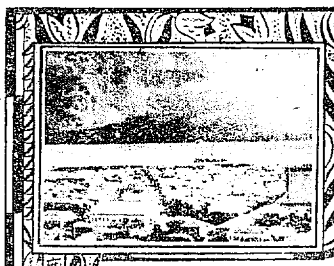
(五五) 不得要領

世界に於ける妥協的二大人種は、英人と、支那人と也。されど英人は、時として主義の爲めに、一大革命を激起したる事あり。支那に於ては、其の英國に三倍する程の、長き歷史を有するに拘らず、殆んど之を見ず。而して若し強ひて之を求めば、最近に於ける第一革命是れのみ。

然るに此の革命も、但ち其の後半は、袁一派の爲めに、其の網の底を占められ、折角の苦心、愛親覺羅氏に代ふるに、袁氏を以てしたるに過ぎざりし也。爾來六年の歲月は、如何なる進步を見たる乎。一喜一憂、覩るゝも、無數の小喜あり。吾人は敢て其の成功を、急速に責めんと欲する者にあらず。されど今日の所、革命は殆んど無意義にして、空しく群雄割據の勢を馴致したるに過ぎざるを悲しむ。而して其の病根は、悉くにある乎。畢竟隨處に妥協症の、附き纏ひつゝあるが爲めにあらずや。

予を以て、南北の妥協に反對すると做す勿れ。然も第一革命以來、妥協に次ぐに妥協を以てし、今日に到るも、遂ひに何等の可闘的効果なきにあらずや。而今の所謂妥協とは、半上落下、不徹底を意味するものとなり了れり。乃ち現在に於ても、一方に南伐の師を出しつゝ、他方には南方と握手に汲々たり。未だ戰はざるに和せんと欲せば、寧ろ師を出さざるの優れるに若かず。犬の遠吠、電報の合戰、其の落著く先は奈何。

惟ふに我が維新の大業の成功は、岩倉、西郷、木戶、大久保諸氏が、公武合體の妥協說を排して、武力改革を斷行したるの一事に、最も重きを措かざるを得ず。凡そ妥協の効は、偶ま之を用ふるによりて切なる也。若し妥協を以て始終せば、其の結局は、不得要領に了らざるを得ず。支那諸政治家の不得要領、俄ぼ可也。其の政局をして、不得要領に陷らしむるに到りては、沙汰の限り也。



鹿兒島市街

筑後川の鐵橋

太宰府梅林

視察團を歡迎する九州

本社主催九州視察團の擧は、九州各縣各市の官民諸氏に多大の贊同と非常の好感を以て迎へられ、旅行に關する諸般綱查準備の爲め汎ねく視察地を歷訪したる我社準備委員との間に協定、四縣五市に亘り前後六回の盛大なる歡迎會催さるゝ事となりました。即ち

◇福岡市 共進會協贊會歡迎會(四月十七日)◇福岡市 福岡官民招待會(十八日)◇熊本市 熊本官民有志歡迎會(廿日)◇麑島市 麑島市官民有志招待會(二十一日)◇久留米市 博覽會協贊會歡迎會(二十二日)◇大分市 大分官民有志招待會(二十三日)

等にして斯る絕好の機會を利用し互に交驩すると同時に席上各所共選拔代表者の趣味饒かに實益多き講話ある事に決定、更に各視察地に於て團體見學の際は、何れも其地官民有志の代表者十數氏は團員の爲め先導說明の勞を執らるゝ事となりて居り升。

九州視察團

主催 京城日報社 每日申報社

宋以前の繪畫(六)

於京城俱樂部 今關天彭氏講演

丁、畫人傳と短評

今各種の畫品中から歷代の代表的畫人に試みた短評を拔き出して、これを諸君と一讀すると共に、之れ等畫人の略傳をも緩びまた大體に於ける宋以前の繪畫史を一瞥せん。

象形文字から進化して成立した支那繪畫は、漸次發達して秦時代となると、いろ〱の模樣を衣服に附けたと云ふからカナリ盛つて來たのである。殷の武庚の時代となると、武庚が傳說といふ名臣を夢に見たので、その容貌を畫いて全國に求めさせた事がある。それで人物畫もある程度まで發達したと云ふ事が知れる。周末には人物畫は餘程流行した。楚の屈原が作つた天問を見ると、楚の先王を祭つた廟や公卿の祠堂には、天地山川の神靈、古聖賢の像を畫いてある有樣が見える。秦となると、阿房宮の建築は、一般藝術界に大影響を與へたること無論であつて、繪畫の之が影響を被つたことは云ふまでもないことである。漢となる。漢代の文化は武帝の此を以て第一とする。この時代に張騫が始めて西域に入つて、安息國から葡萄や苜蓿を持つて來た。漢鏡に見ゆる天馬葡萄の模樣は[illegible]である。[illegible]畫用が多くなり、功臣を麒麟閣に畫いたのも、武帝の崩後何年の後でもない。また毛延壽といふ人物畫の名手があつて、王昭君の事で市に斬られた話が殘つて居る。毛延壽は衡方の畫工であるから出る畫院はこの衡方の畫工から出るのである。後漢となる。明帝は畫の愛好者であるのみならず、この時代に佛敎が始めて支那に入り、漸次佛敎畫の流行となるのである。この時代の畫は、今日一つとして見ることは出來ぬが、さりながら石に刻んだ畫は多少殘つて居る。即ち山東肥城縣の孝堂山祠、同じく嘉祥縣に在る武梁祠の石刻がそれである。是れ等の石刻は今日も存して居るから、諸君の中で或は實見した方もあらう、或は是れから御覽なさる機會があらう。武梁祠の石刻畫を紙に撮したものは幾らもあるから、說明する必要もないと思ふ。

後漢衰亡して三國となる。三國の中、江南の建業即ち今の南京に都を立てた吳には曹不興が出た。この人は大きな人物畫を描くに妙を得たと云ふ。また龍を畫くに妙を得た。後來龍が畫題の一つとして獨立するやうになつたのは、この人の影響であらう。

曹不興

不興之迹、殆莫復傳、唯秘閣之內、一龍而已、觀其風骨、名豈虛成 古畫品錄

三國を統一したのは晉である。晉の衛協は曹不興の門から出て、佛畫の元祖と稱せられ、道釋、人物では評判高く、支那畫を一變した程の人である。

衛協

古畫皆略、至協始精、六法之中、迨爲兼善、雖不該備形似、頗得壯氣、凌跨群雄、曠代絕筆 古畫品錄

衛協の門からは顧愷之が出た。この人は六朝三大家の一人で、非常にえらい人である。その特色は人物畫であるが、禽鳥、龍虎、山水等もまた宜しい。

顧愷之

格體精微、筆無妄下、但迹不逮意、聲過其實 古畫品錄

長康之美、擬諸往哲、獨然高步、終始無雙、有若神明、非庸之識之所能效、如負日月、豈末學之所能窺 續畫品

錺 布施生譯

二十

夜から思ほ夢中夜行の人は滿月の夜に限つて出步るものですのに其夜は月の無い薄暗い夜でございましたから勿論師匠は夢中夜行ではなかつたのでございます、師匠は躊躇もせず街角を左に曲り十四五間も往つたかと思ふとそつと暗い軒下に身を隱しました、私は見ゐませんが聞覺た輕い咳拂で師匠の居る所はよく分ります。處へ來蒐つたのは何處かの士官で鳥の羽の附た兜を冠り細身附の佩音をこつ〱言はせながら通りましたが其士官が師匠の隱れた所を通懸るや否や然に飛出した師匠の勢、獲物を見て飛蒐る虎のやうで士官はあつと云ふ間に仆れました。

私は思はず驅寄つて見ると師匠は倒れた士官を踏付けて何かしてゐる樣子、私は吾知らず『師匠まあどうしたんです』と聲をかけますと師匠は振向いて見ましたが、私には何の返事もせず丁度士官の衣嚢から引出した錺を持て立上り樣『畜生運に盡きた奴め』と凄い捨臺詞を殘した儘見向きもせずすた〱步いて往つて仕舞ひました。私は思はず士官の傍に驅寄つて見ますと丁度通懸つた夜警の一隊が眼敏く見つけ何だ〱と寄つてきて『やあ又一人やられたか、傍に居る若い男、手前は一體何者だ、もしや殺人鬼の同類か』と口々に騷ぎながら私の肩を掴へましたが顔を見ると『何だ雅地さん處の職人ぢやあないか、それもさうか人を殺した奴が何で殺された奴の傍に愚圖〱して取捕るやうな間拔な事をするもんか、しかし手前又どうしてこんな處にゐるんだ』と尋ねられて私は『宅へ歸る途次不圖此處を通懸ると思はず曲者に遭遇したが當人は稻妻のやうに影を隱してしまつたから勿論顔も分らぬ、見れば跡には人が倒れてゐる、はゝあやられたなと思つたから止めて息でもあるかと介抱に懸つてみた處です』と虛言を吐きました、夜警はそれで承知して『何、例の通り心の臟の突創だ、介抱したつて何の甲斐があるものか、死ぬ者貧乏之南無阿彌陀佛〱』と言ひ乍ら私には別段不審も起さず其儘死骸を片寄せて往つてしまひました。私はそれなり茫然して居りましたがどの位經ちましたか程なく東の方が白んで參ります、私ははつと氣がついて夢から醒めた人のやうにたつた今の事を思出すと情なくて涙がこぼしきれません、私の師匠と賴んだ人、可愛い娘子の父に當る人が此頃噂の恐ろしい殺人鬼、私は泣くにも泣けずもしや夢かと四邊を見廻しましたが夢でない證據は現在眼前に血が流れて其に付いた鳥の羽が散亂つて居りました。

(○雜誌抄)

○貯金(貯金の奨め)

百圓の貯金が長い年月に幾らになるかといふに一年目には五分の利で百五圓であるが十年目には百六十二圓八十九錢となり、二十年目には二百六十五圓三十三錢となり三十年目には四百三十二圓十九錢となり五十年目には十一倍以上の一千百四十六圓七十四錢となる、更に是が九分の利であつたら其の驚くべき額に達する(圓以下四捨五入)

十年目	廿年目	卅年目	五十年目
二三六	五六〇	一三二六	七四三五

社告

右者今般北九州方面の經濟調査の爲派遣仕候

記者 別府八百吉

三月十五日 京城日報社

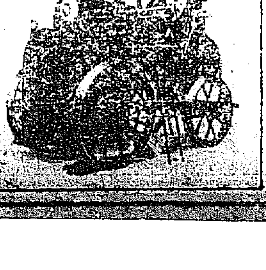
▽▽新學期開講會員大募集特典提供
漢學講義錄
◎速成一ヶ年卒業 ◎懸賞詩文募集 ◎詩文添削無料
講義錄見本付會則無代進呈
科目 ◎四書◎研究指針◎論語◎日本外史◎日本政記◎十八史略◎文章軌範◎唐宋名家文◎近世名文◎文章規範◎唐詩選◎普通作文法◎漢文解釋◎支那戲曲◎小說◎詩解釋◎漢文試驗問題解釋◎外講演其他
東京市神田區表神保町二番地 帝國漢學普及會 振替口座東京二五九四番

營業創立明治二十八年
時計及蓄音器卸商
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇一五番 振替京城七八二

太陽生命
利益配當報告
大正六年度の決算は良好の成績を擧げ今回左記の割合を以て保險契約者に利益を配當す
大正貳年中に契約せられたる方へ 年掛保險料の貳分
大正參年中に契約せられたる方へ 年掛保險料の九分
大正四年中に契約せられたる方へ 年掛保險料の六分
右は契約者各位へ夫々御通知致置候へ共萬一未達の向も有之候はゞ所管代理店又は本社に御問合せ被下度候
東京市京橋區南傳馬町二丁目十二番地 太陽生命保險株式會社 社長 西脇濟三郎 專務取締役 清水文之輔
同所東京支社 主事兼東京支社長 島貫介

當會社の特色
○當會社は保險契約者の爲に每年一回總利益金の百分の五十以上を積立て利益配當に充つ故に契約者は會社の株主と同じ
○保險金の外に五年目每に生存配金として巨額の生存分配金を被保險者に贈與す、長壽者は保險金よりも多額の生存分配金を受くることあり
●外務社員採用 每年保險契約者に多額の配當をなすを以て加入申込多く多數社員を採用する必要有之此際誠實なる外務社員を採用す志望者は履歷書を支社に送られたし

◎學期開始 四月七日 ◎願書受附 四月五日迄
明華女子齒科醫學校
規則書郵券を要す 東京市本郷區田町


ポータブル エンジン
實馬力十三馬力 常用汽壓八十封度
右英國製中古品賣渡す
諸汽罐機械製作 龍山元町二丁目 加藤鐵工所 電話四三三番

珍花草花配分
西洋草花 最近流行草花十種卅五錢 卅種一圓
朝顏 大輪咲十種卅五錢 五十種一圓
ダリヤ カクタス五球七十錢
夕顏 白花大輪一袋五錢
夏菊 小輪五種四十錢 大輪十種一圓
圖鑑花卉目錄と栽培書ハガキ申込次第送呈す 各送料無代切手代用可
尾張國稻澤町 愛知農藝園 振替東京一三二四三 大阪二〇六六

寶飾時計貴金屬
歐米各種時計 各種眼鏡 寶石指環 ダイヤモンド 金銀美術品 又附屬品一式 貴金屬品美術製作 御好に可應候
京城本町一丁目 勲奇堂 平井時計舖 電話二二〇一番 振替京城一二六一

LEGUMON
新滋養劑 レグモン

肺結核、慢性腎臟病、糖尿病、乳汁分泌不足、熱性病並に其恢復期其他一般病中病後の衰弱に對して最も有力なる營養增進と强壯の効を奏する代表的國產滋養劑
定價 一百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
說明書無代贈呈
大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛

◎十五日發集(探鐵貨の[illegible]調節氣帶へにて買物多し) [illegible]

獨逸東漸と極東

▲百五十名の邦人虐殺さる

黒龍江沿岸ブラゴエチエンスクにて邦人百五十名虐殺さる形勢重大なり（十五日午後四時二十分東京發至急報號外再録）

▲海蘭包虐殺（第二報）

過激派三回目の襲撃の爲

我國旗に凌辱を與ふ

露國過激派は十二日ブラゴエチエンスクに對し第三回目の襲撃を行ひ哥薩克兵並に温和派との間に戰端開かれ反過激派は大敗せり逃げ後れたる邦人百五十名は大部分虐殺せられ久原鑛業出張所に掲げありし我國旗は凌辱を加へられ同所員は生死不明なりとの情報某所に入電ありたり（哈爾賓電報）

▲露羅講和成立す

羅馬尼と露國との講和成立し露軍はベッサラビアを撤退せり（露都電報）

▲日本出兵の討議

ヴェルサイユ聯合國最高軍事會議は日本の西伯利亞出兵計畫を議題として討議したり多分日本の出兵を可とする決議をなすべし（倫敦電報）

◎米陸軍卿巴里著

米國陸軍卿ベーカー氏は十一日巴里に到着せり（倫敦電報）

◎印度米輸出禁止

英領印度政府は曩に輸出禁止品中米に關し制限輸出を許可したりしが更に本月十二日附官報にて總ての仕向地への輸出を禁止する旨通告せり（東京特電）

◎佛國新型船註文

佛國政府は今回多數の新型船新造の註文を爲せるが右新型船舶は三度水雷命中するも沈沒する事無しと（巴里電報）

◎獨對芬蘭

平和條約調印

伯林公報に依れば獨逸芬蘭間に左の要旨の平和條約七日調印せられたりと

一、獨逸及び芬蘭間には交戰狀態成立せず
一、獨逸は列强をして芬蘭の自治及獨立を承認せしむるに努力す
一、芬蘭は外國に其の領土を割讓せざるのみならず獨逸の同意を得ずして其領土の租借を外國に許さず
一、「アーランド」島の要塞は直ちに撤去し同島永久の無防禦に關しては特別なる協定をなす
一、締盟國は戰費及び損害の賠償を否認す

右條約批准は三四日の間に兩國全權伯林に會合附則規約を協定す（倫敦電報）

◎中歐對羅國

平和條約

維也納由五日ブカレスト通信に依れば中歐同盟國と羅馬尼との豫備平和條約の詳細左の如し

一、中歐同盟國と羅馬尼との休戰期間は三月五日正午に竭きたるを以て左記條件に基き平和協商をなす爲更に休戰期間を五日正午より十四日間延期す但し之が否認を要するときは三日以内に通告するものとす
二、羅馬尼はドナウ沿岸に至るドブルヂア州を中歐同盟に割讓す
三、中歐同盟國はコンスタンザを經て黒海に至る通商路の保持を羅馬尼に許可す
四、墺匈國の要求せる墺匈國と羅馬尼との國境改訂は其の主義に於て羅馬尼之を承認す
五、右第三項國境改訂に伴ふ經濟上の處分も亦其主義に於て等しく之に讓歩す
六、羅馬尼は少くも羅馬尼軍八個師團を直に復員す但マッケンゼン軍高級司令官及び羅馬尼軍高級司令官との協同監督の下に之を實施す露國と羅馬尼との平和回復せば露國と羅馬尼國境の山地安寧保持に必要なる部隊を除き殘部の羅馬尼軍は復員す
七、羅馬尼軍は其占領せる墺匈國領地より直に撤兵す
八、羅馬尼政府はモルダビア及びベッサラビアを經てオデッサに至る中歐同盟軍の鐵道輸送を爲し得る限り援助す
九、羅馬尼は中歐同盟國と交戰中の各國將校にして羅馬尼に服役中のものを直ちに免職す

此條件は直に之を實行す（倫敦電報）

◎林公使通過

林公使一行は十五日午前零時三十分著奉官民の出迎ひを受け大和ホテルに入り同十時京奉線にて北京へ赴けり（奉天特電）

◎遣露武官歸朝

客年二月我參謀本部より露都駐在武官として派遣されし歩兵大尉井藤次、山崎昌隆兩氏は十五日敦賀に著し桃山參拜の上歸東の筈也（敦賀電報）

◎谷田少將北行

谷田陸軍運輸部本部長は十四日夕來元第三琴平丸にて北行の筈なり（元山特電）

◎竹中局長大連行

鐵道營業局長竹中正一氏は十五日朝來奉直に大連に赴けり（奉天特電）

◎持地土木局長

持地局長は十五日午前新義州より來安郵便局其他を視察し同午後三時四十五分龍背へ赴き一泊の上十六日歸任の豫定なり（安東縣特電）

◎國澤滿鐵理事長

國澤滿鐵理事長は十五日奉天より來長し同夜吉長鐵路總辦歡迎會に臨み十六日朝吉林に向け出發（長春特電）

◎米國鐵道技師

米國鐵道技師スチーブンス氏は十八日安東發北行の途に就けり（安東縣特電）

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（十五日）

▲本會議

十五日午前十時開議諸般の報告あり兒玉利國氏請暇の件異議無く承認

大正六年度歳入歳出豫算追加案
大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

委員長淺田德則氏委員會の經過を報告し

▼尾崎三良男　今日の物價騰貴は通貨の膨脹が其の主因を爲すものと認む政府の所見如何

▼勝田藏相　物價騰貴の一因は通貨の膨脹に在るは政府も之を認む然れども人爲的に之が縮少を圖らんか忽ち貿易の不振市況の沈靜を來し結果思はざるものあらん是れ政府の愼重考慮中なる所以なり

次で石黒忠悳男より陸軍糧食問題に就き質問し寺内首相の答辯あり更に尾崎男より農相に對し物價調節に關する所見を質し仲小路農相より物價を人爲的に引上ぐる者に對しては相當警告を與へ居れりと答へ採決に入り委員長報告の通り可決確定

有價證券割賦販賣業法案

勝田藏相提案の理由を說明し九名の委員附託

朝鮮の生産に係る物品の移入稅免除に關する法律案

勝田藏相提案理由を說明し九名委員附託正午休憩

午後一時十五分開會德川議長は議員南木豐三郎氏十五日卒去の報に接し痛歎に堪へずと就ては弔辭を贈りたしと諮り異議無く可決

貴族院令中改正法律案

委員長德川慶久公登壇委員會の經過を報告し法案を可決せりと述べて降壇するや

▼小澤武雄男　目下政府より衆議院に提案中なる衆議院議員選擧法改正案と本案との間何等か聯絡なきか兩案は孰れも議員數の增加を計るに在り多くの先進國を見るに上院より下院の議員數多し首相は兩院議員數に付何等顧慮する處無きか

▼寺内首相　兩案の提出には何等の聯絡無し各案孰れも一々必要の基礎に依り增員を提案せるものなり兩案にして通過せば貴族院議員は四百名（現在三百七十一名）衆議院議員は四百三十五名（現在三百八十一名）となる次第なり

▼石黒忠悳男　委員會にて一委員は勅選議員には老耄者多く徒らに議席を保有して天下の輿論を誘起し得ざるものあり故に勅選議員の年限を限定すべしとの說あり本員は勅選議員の一人として恐縮したるが此の一委員の說に對する政府の意見如何又貴族院中政府關係の營利會社に籍を有する者あり斯の如き者に對し政府は何等かの改正を加ふる意思無きや

▼寺内首相　孰れも未だ考慮せること無く現在のまゝにて差支へ無しと信ず

▼加藤恒忠氏　本案は議員數を增加せんとするに在るが英の外我國の如く多數なるは無し英國は從來の議員數を減少して其內容を改善せんとの傾向あり然るに我國は益々其數を增加せんとす政府の意向の在る處を知るに苦む

▼奥平昌恭伯　本案は憲法附屬の法律にして妄りに其改正を許さゞるも其必要に迫らるれば改正も亦差支へ無きは貴族院の規程する處なり改正案は伯子男爵議員に於て不公平を見ず又北海道、沖繩縣に於ける多額納稅議員の選出は地方制度の實施に伴ひ適切なりと述べ前田利定子討論終結の動議を提出し異議無く由て議長は本案に付記名投票にて決を採り投票總數二百二十一票中可とする者二百十五票否とする者六票、中川興長男の動議にて二三讀會を經て委員長の報告通り可決確定

市町村立小學校教員退隱料及び遺族扶助料法中改正法律案

委員長德川圀順侯より報告あり可決確定

重要物産同業組合法中改正法律案

衆議院提出案にて說明も質問も無く委員附託

次で請願二十一件採擇午後三時散會せり

衆議院（十五日）

▲豫算第四分科會

十五日午前十時五十分開會獨墺俘虜の情勢、補助艦、軍需品、東清鐵道の破壞等に關し高木正年氏（憲政）の質問に對し

大島陸相は大略左の如き答辯を與へたり

「西伯利亞方面目下の獨墺俘虜數は貝加爾以東九萬四千人、貝加爾以西六萬人あり合計約十六萬に達せり其の內貝加爾以東の俘虜は現在何等の監視も附せざれば彼等は目下武器を手にす可く努め居れり而して貝加爾以東は温和派たるセミヨノフ軍あり以外ありて聯合與國の好意を得る爲め將來は勢力を得んも目下の處にては又浦鹽にも一派の過激派ありブラゴエチエンスク攻撃の一派とマン（ハバロフスク附近）にも過激派の存在するものあれど何れも未だ優勢ならず是れに反し過激派は漸次勢力を增し兵器を集めつゝあり、今日の處大體に於て温和派は劣勢なり而も其上俘虜は過激派に應援せん模樣あり若し是等獨逸捕虜が團體となり過激派を援助して活動せば頗る恐る可きものあるを以て當局にては各處に諜報者を配置し鋭意警戒しつゝあり十萬の捕虜を我師團に對比せば約五箇師團となるも彼等は目下武器を集めつゝあるに過ぎざれば完全なる五箇師團となるは容易の事に非ずされど獨逸が歐洲より武器を送附せば恐る可きものなり軍需品は約七千萬圓にあるが是れを西方に輸送せる形跡無し、東清鐵道は目下支那軍にて守備し居れり」

▲本會議（十四日）

（十四日本會議の續き）

特許法中改正法律案
商標法中改正法律案
意匠法中改正法律案
實用新案法中改正法律案

以上四件一括して議題に供し、委員長岩崎總十郎氏（政友）の報告あり、岩崎勲氏（政友）より特許法律案の附則に修正動議を提出し委員長報告、岩崎氏修正通り可決確定

三輪市太郎氏（政友）說明、委員附託

名古屋太田間鐵道速成に關する建議案
日本體育會國庫補助に關する建議案

江藤哲藏氏（政友）提案理由の說明あり、委員附託

勞働保險法制定に關する建議案

上村廣作氏の說明あり、委員附託

中越鐵道買收に關する建議案

廣瀬鎭之氏（政友）說明あり委員附託

愛媛縣今治港開港に關する建議案

河上哲太氏（政友）より提案理由說明あり、委員附託

東京市制に關する建議案

村松恒一郎氏（國民）說明委員附託

大阪市特別市制に關する建議案

白河次郎氏（國民）說明し前案と同一委員に附託

北海道拓殖官制に關する建議案

小池仁郎氏（憲政）說明前の北海道鐵道完成建議案と同一委員に附託

[illegible]祀に關する建議案

大森文衞氏（政友）說明、委員附託

神戸市內鐵道改良急施に關する建議案

坪田十郎氏（政友）提案理由を述べ委員附託

山田翠平間鐵道建設に關する建議案

右は提案者の希望に依り延期す

蔬菜耕作組合に交附金額に關する建議案

高田耘平氏（憲政）說明、委員附託

久留米、大分間鐵道建設に關する建議案

一宮房次郎氏（政友）說明委員附託

鐵道建設に關する建議案

根本正氏（政友）委員會の經過報告あり可決、午後九時半散會

◎高木博士逝去

貴族院議員從四位勳三等法學博士高木豐三氏は十五日午前十一時逝去の旨發表されたり

■略歷　東京府平民嘉永五年五月十七日生、司法省法學校に入り卒業して法律學士の稱號を得、明治十七年判事に任ぜられ獨逸に留學し歸朝後福島地方裁判所長、大審院判事、司法省民刑局長、司法次官等に歷任、同三十三年官を辭して辯護士の登錄を受く、同三十四年法學博士の學位を受領す、後貴族院議員に勅選され、[illegible]生命保險會社の重役たり

告天子　松山　尾山

布穀初鳴已促耕。一犁春雨得新晴。高飛更有告天子。何奏日邊雙有聲。

評曰　託告天子瀉胸底之幾微合蓄餘情何外有響

■百醫百種■

英國議會に女教師免許法案と云ふのが提出せられて近頃女に牧師の職を與へよと云ふ運動が行はれて居る▲運動ばかりではないボイエン孃と云ふのは倫敦市の有名の會堂で現に牧師を勤めて居る、而して此程任期が滿ちたので會員は滿場一致で孃の重任を可決した▲孃は今十年も經つと各教會に女牧師を置くやうになると豫言して居る▲松方侯の田尻博士評に曰く『田尻は俗世の佛ぢや脂つ氣の拔け切つたハイカラぢや文章で云へば綿密の極平淡に歸したのぢや』と▲其の田尻北雷博士は大隈侯とは緣戚の關係であり乍ら非常な大隈侯嫌で▲何時でも侯の事を大法螺翁と云つて居るのみならず▲早稻田大學に一週に二回經濟の講義に行く際などは▲常に『能々活に行くんだ』と眞面目に云つて居るなどは矢張り北雷式▲歐洲では婦人の勞働者が多く其の成績も好いと云つて居る▲晋務西の國有鐵道には十萬以上の婦人を使用して居るが其仕事は男子が千人以上でやつて居た事だ▲處が婦人ではどうも間に合はぬと同國鐵道院總裁は零して居る▲或は之が事實だらう

□號外發行

本社は十五日午後八時ブラゴエチエンスクに於ける邦人虐殺の號外を發せり

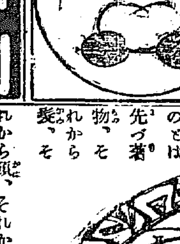
◎滬總統辭職裏面の事情

[illegible]者ならんが事此に至りし裏面の情勢は甚し錯綜せるものあらむ第一[illegible]して仕南軍討伐に當れる曹軍連の態度に變化起れりとし[illegible]張懷芝は未だ山東を出でず[illegible]は渡口[illegible]するに非ざれば南北安協の道なき今日斯の如き狀勢を持續するに於ては[illegible]之に對する批判區々たれど南軍が岳州以北に進出せざるべきは略知[illegible]機なきを以て再び攻撃に向ひつゝあるも曾て岳州陷落に當り湖南巡[illegible]事擧て然らざるはなし只現下の問題は岳州の奪還如何に集中し居れ[illegible]なき支那政局に徹底的に打開すべき局面を見出さず[illegible]有に係る神海丸（二千九百七十八噸）並に橋本汽船合資會社所有船天山丸（二千五百十三噸）の二隻何れも[illegible]の航路に從事するものなりと

大正七年（ヨ）第四七八號
公示催告
京城府南米倉町二十三番地
乾物卸商　申立人　辻本嘉三郎
一、荷物受取證壹通
但番號一〇六號、運送品銘柄容積二十七才六荷印貨物ノ種類及個數タル六個價格金四百圓陸揚地京城府受荷人京城南米倉町二十三番地荷受人大阪府取扱人合資會社鈴木久之造正六年十一月六日作成發行大阪商船株式會社大阪支店長石崎震二最終ノ所持人辻本嘉三郎
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ依リ其ノ所持人ハ大正七年九月三十日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當院ニ權利ヲ届出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ爲サヽルトキハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正七年三月十三日
京城地方法院

生徒募集
本科　五十名
專修科　五十名
隨意科　三十名
右至急募集す
大正七年三月十四日
京城三角町九一（朝鮮商業銀行後）
私立　實修裁縫學舍

苗木販賣
赤松、黒松、アカシヤ
カラマツ、桐苗其他各種
新龍山鐵道前
川地春秋園


友助堂
京城南大門通一
電話二九七七番
振替一八九五五番
金銀時計　眼鏡指環　各種取揃居り候代金引換に應じ申候

最新刊

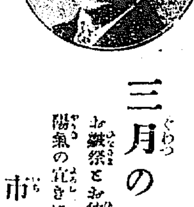
書名	著者	定價
最新實用的强健法	伊藤銀月	九〇
理想ノ子守法	服部北溟	一、〇〇
住宅家相之話　上	荻野卅一郎	一、三〇
茶話	讀賣新聞社	九〇
日蓮宗派通話	宗學典研究會	一、二〇
莊子私纂並詳義	土屋弘	一、一〇
評秘靈魂口よせの術	双龍軒先生	一、二〇
文字の教へ方	後藤朝太郎	一、五〇
一九一七年世界出版　現代の八大强國	長田新譯	一、〇〇
支那の兵相	大河平隆光	一、七〇
艶れるまで	佐久少佐	一、二〇
小生の手紙	大町桂月	一、三〇
小說の作り方	德田秋聲	五五
株式市場必勝術	居月農人	二、〇〇
中學校受驗及第秘訣	學驗研究會	六五
誰にもできる蓄電池及充電機製作法取扱法	[illegible]	一、三五
獨逸の文化を敵の方に居ける緩方指導の實際	氏家丑次郎	一、五〇

京城本町[illegible]　大阪屋號　振替京城二五七

三月の家庭

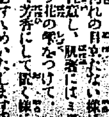
お雛祭とお彼岸に賑ふ家庭
陽氣の宜きに不意の客あり

市川段四郎談（ミツワ文庫七三）



三月に入りますと月初めにお雛祭がありますし、十八九日頃からはお彼岸に入りますからお客樣と改まらないまでも、家庭に人の出入は二月の頃とは違つて繁くなります。それに一體にもう春めいて參りますから一寸お出かけに立寄ると云ふ方も自然と多くなりますから、お出かけにならずに只家庭にお出になります際にも、きりつと身の廻を亂れない樣に身じまひをなさるが家庭內の禮儀作法かと存じます。一寸立寄りましてもその家の主婦の方なり、お子さん達の身のまはりがきりつと整つて居りますと、家庭の取締が行届いて居ると云ふので自然とその家の主人の信用も增して來ると云ふのが一般の世間でございますから、一家の主婦は此邊にもよくお氣を留められるのがお心掛の一つかと存じます。身のまはりの整つて見ねますのと亂れてだらしなく見ねますのとは先づ著物、それから髮、それから顔、それから手足から來ますものです。先づ著物は三月ですから未だ綿入ですが綿入の季節も長くなりますから、よれよれになりましたり、又暖かく明るい三月になりますと汚れ目の目立ちますものですから、此月になりましたらお著換になつた方が宜うございます。平常著にしましても虫の著かない樣に簞笥へお藏ひになつてあります時、虫除に樟腦やナフタリンをよくお用ゐになりますが、此は出して著ます時、此の刺激の强い厭な臭が鼻について自分にさへ不愉快なものですから、人には一層心持の惡いものだらうと思はれますが此にはミツワ三百番香水の中にお好の芳香を選んで、此を布片に浸して簞笥の抽出の過へ入れて置きますと虫除にはよし芳香はよし、一舉兩得でございます。

それから髮でございますが、亂れない樣に髮を結ひますのは勿論、毎朝洗面後に鏡臺前に坐りましたら、頭髮の榮養を助ける髮油のミツワ椿油を用つて綺麗にお手入をして暇のある毎に亂れない樣にお手入をなされば此ミツワ椿油のお蔭で髮は眞黒に艶が出て、きりつと亂れず美しく見ゆる樣になります。顔や手足は入浴を怠らない樣にし、その都度必ずミツワ石鹸を使ひますと、皮膚は刺激されずに汚垢が落ち、機能が健やかになつて生々と清潔になります。此清潔になりました皮膚へ、肌理を細かにし肌に潤澤を與へる健膚藥ミツワ雪の華を擦り込んで置きますと、顔や手足は美しくなります。



▲市川新之助曰く　此からの暖かさには、汚れや脈な臭が目立ちますものですから顔や手先はミツワ石鹸を使つて洗ひ清めて、汚れの目立たない樣に花散し、脱著にはミツワ花の雫をつけて、芳香にして匿く樣におすゝめいたします食後に用ゐます歯磨も拭なでも此ミツワ花牛ので輕く匂をつけますと薄穢なさが消ねてしまつて大變宜しうございます。

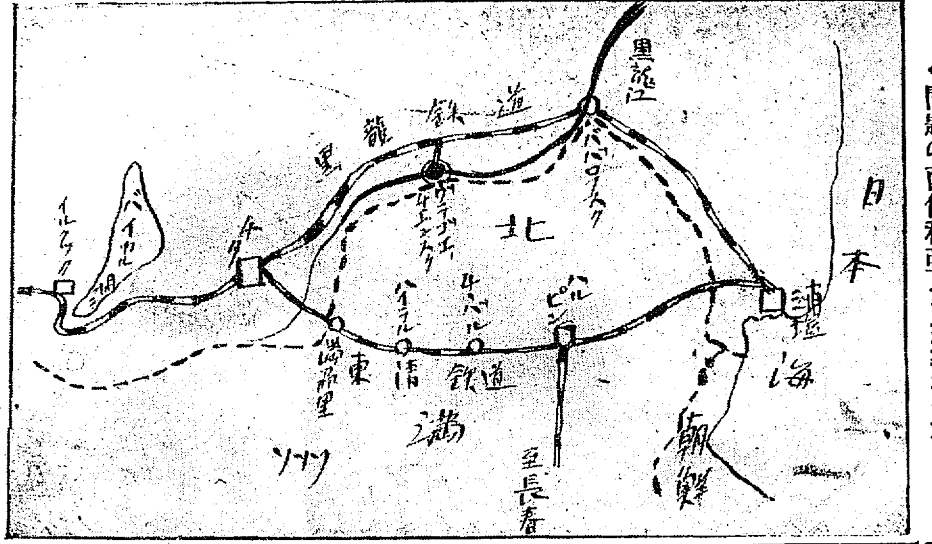
▲發賣品目錄進呈　東京橘町　丸見屋商店▼

醫學士　小山田諦　編
家庭治療法
本書は日常の衞生法を示し、罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである
定價金五拾錢。但其半額を添へ御申込あれば一冊送呈す。
東京日本橋區橘町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

…し自己に對する信任の程度をしめし爲潤は身邊の危急を感じ對…定するの意圖より兩歩銀難に辭應策として氣勢緩和の爲に調停通精り直後の方策に便せんとする電を發しるなりと云ふ者第二説と…洞を經て岳州の側面攻擊に當らんとするのみにて曹張(錕)共に和平論に傾けりとす隨つて岳州を奪還…引に便せんが爲めに鉄軌道電を發せりと説くなり其他諸報あれども多く右二説の外に出でざるが如し…は張樂の缺乏にあるべしとさへ觀察せらる之に反して北方派は岳州を奪還せざらむか到底南北和平の…對する段派の壓迫漸く强きを加へ來れり總理王士珍の請假、靳雲鵬の一時總理代理、張作霖の出動等事…に至らば南北共に人を求むるも得難く結局は曲折を經て再び渦に歸するに至るべきが如し混沌として表…

◉新入籍船一隻

永らく新たなる大型船の朝鮮入籍途絶えゐたるが最近松方正熊氏所…を急ぎ遞信當局の檢査を受けつゝあり又天山丸も近く神戸にて檢査を受くべく兩船共に内地と外國間…



◇問題の西伯利亞　ブラゴエチエンスク

◉ブラゴエチエンスク市

―邦人百五十名虐殺されたる

◇黒龍鐵道の主要驛　◇邦人在留三百餘名

ブラゴエチエンスクに於て邦人が又復百五十名虐殺されたさうでありますが同市は黒龍鐵道線中の重要驛で人口五萬、砂金其他鑛物麥類の産地として名高く哈爾賓からの行程は哈爾賓から

◆浦鹽に出で　ウスリー線を北に向ひ、バブロフスクで黒龍鐵道線に乘替へ約三晝夜にして達しますが其の距離は約千三百六十四露里許りあります邦人は約三百人位在留して居つたと記憶して居ますが職業は重に洗濯理髪、時計修繕寫眞及び小數の醫師と例の

◆娘子軍まで　あります、元來西伯利亞に於ける邦人の職業は大抵こんな種類のもので人口五萬位の都市には百五六十名位住んで居りますがブラゴエチエンスクには他の都市の人口に比例して日本在留民が倍以上も居住して居る處を見ると極めて

◆有望な土地　であらうと思はれます同地は彼の有名な東部西伯利亞總督アムール伯爵の發見に係り紀元千八百五十六年に建設した都市で歴史上より見ても産業上よりも極めて重要な都市で此れが爲めに

◆人口稀薄な　此附近一帶の曠漠たる平野も漸次移民されて年々拓け行つゝ有る(小田榮氏談)

▼殘虐なる歴史をもつブ市

―女小兒が虐殺されたらう?―

◇西伯利亞奥地居留邦人危し◇

『有り相なことですな』と某消息通を叫ばしめたといふ程に危殆に在つたブラゴエチエンスクには遂に邦人百五十名の流血を見る大慘事が發生した電報によればそれは

◆三度目の衝　突に因るものだといふから勿論第一、第二の衝突と同じく過激派師團(此處には露西亞の六師團がある)と在地方反過激派及びコザックの集團の衝突で尙わが在留邦人も共に起つたのではあるまいか。同地は人それ知る明治三十三年義和團事件に際し黒龍江を隔つる南岸サハリヤンウーラ市の支那人が攻擊を敢てしやうとしたので立處に彼等は

▼銃劍によつて　ブ市在留の支人五千有餘を虐殺して黒龍江を紅に染めた殘虐な過去の歴史を持つてゐる所である。人口五萬六千の内に邦人三百餘人は數百人を算へられ、彼等の職業は雜貨店、時計商、寫眞屋といふ樣で尙久原鑛業の出張所があり、多數の娘子軍が在留して居たものである。彼等は

◆國境にある　特に此地方にある邦人の常として非常に邦家に忠實なのであるから今回の事變にも定めて勇ましく元氣よく應じたであらうと思はれる、けれどわが義勇團及び反過激コザック軍の戰が時に利あらず一歩を退いた際して矢張常々國境的に侮辱を感じさせられてゐたらう過激派の露兵等が或は娘子軍をはじめ民家を襲うて

▼女小兒等に　到る迄も猥褻を敢てし殘虐をなしたであらう、電報は久原の出張所員の生死不明をも傳へてゐるからそれ等の人々が悉く殺されたのではあるまいか。勿論日本出兵問題も過激派露兵を刺擊したらうと思はれるかくて彼の卅三年の流血事件を思ひ合せて今回の殘虐さが思はれる、兎に角所管領事館所在地の浦鹽から黒龍水路によるも、新設黒龍鐵道によるも實に千數百露里北ハバロフスクよりするも千餘露里の此地點に

◆一領事館　の賴るべきなき今回の慘事は思ひ遣らるゝのである。尙ブ市から正北百一露里の奥地アレクセーエフスク市及び六百露里なるゼーヤ府等に在住せるもの、窮狀が察せられる、其邊は金坑所在地で鮮人は五六千人は居るのである。ブ市から

▼黒龍の氷を　踏んで三百露里わが保護の手のチ、ハル領事館は遠いのである。それにしてもブ市在留邦人の國家を思ふ所は非常に美しいものがあつたといふから虐げられても彼等は勇ましく邦家をひつゝ死んだであらう!

◉先づ日本語のお稽古を

張督軍の愛孃張首芳さん語る

今しも自動車で動物園植物園の觀覽を終へてお宿の朝鮮ホテルへ歸り着いた張奉天督軍の愛孃張首芳さんは其お婿さんで鮑黒龍江督軍の第二子鮑育才氏、其兄さんの鮑伯英氏等と共に麗かに

▼暖かい春　の日ざしに心もち上氣した頰を撫でながら『支那の婦人は男子の方には顔を見せませんが妾なぞは奉天に居ります頃からよく色々な會合に出ますものですからそこは大變開けて居りますよ』と冒頭しながら『今度は主人と一緒に日本へ留學する考へで參ります、妾は奉天の女子師範の豫科の正科を卒業しまして育英事業に終始したいと存じて居りますが支那の家庭をなすには第一に考へなければならぬ事は何と云つても教育の普及と云ふ事であらうと存じます此點に就ては及ばずながら早くから意を致して盡力をいたし度いと思ひまして勉強をして居ります。それにつけても日本の方と手を握り盤つた日本の育英狀態をも見、研究もして見たいと云ふ考を起しまして丁度

▼實業方面　に志して居ます主人が矢張り日本で勉強し度いと云つて居りますので愈々今回意を決して渡航する事になりました。東京には福島大將を始め宮崎さんなどが居られますので心丈夫に思つて居ります。今日は朝鮮銀行の御好意で方々見せて頂きましたが朝鮮銀行の建物の立派なのにも驚きました、昌慶苑では妾は植物本部の草々と鶏の寄れさうな草や木の芽や蕾…見た事も無い美しい花の咲いて居るのは全く氣に入りました動物園では獅子も象も又平常あまり身體を見せないとか云ふ河馬もよく見ねました、出發は今日の夜行ですが昨夜京城へ寄らないで直行する考へでしたが妾が旅に馴れませんのでひどく疲れまして昨日は一日ご飯が咽喉へ通らない始末で

▼一日休養　の爲め降りました、サー此の先き何處々々で降りますかわかりません、東京では先づ日本語を稽古した上で學校も取極めますが妾はお茶の水の附屬へでも入學り度いと思ひます。雜誌は無んにもありません婦人雜誌なんかを讀む事が好きで宅にはテニスコートが拵へてありますから弟とテニスを致す事も多うございます。尙一行中には日本の然る可き學校の卒業生が二三人世話を燒いて居た。

◆鮑夫人御夫婦連で昌慶苑動物園見物

◉汽船の火災

十四日夜長崎野母沖にて第七平安丸(汽船九百六十三噸)は航行中に火災を起して遂に沈沒せり因に船員は全部救助されたり(長崎電報)

京龍情死史(六)

彌生心中

男は萍に捆まつて底へ

易者の眼=劍難=女難=拳銃

砂櫻の二階桃助の部屋から拳銃の音が響くと家内のものは愕!!として驚け上つた、見れば男は息の桃助が身悶えもせず斃れ其の傍には虫の

◆血煙　浴びて倒れて居る二人とも乳房のあたりから紅い血が流れてゐた、檢視の役人が來て一應の檢視が濟むと冷たい男の遺骸は東に、女は西に、永劫の別れが傷ましくてか彌生の雨がしよぼしよぼと慟てゐた男は廣島市材木町

◆酒井　伊太郎二十五歳、女は高砂樓抱藝妓桃助事片山まき二十二歳、萍に捆まつて底へ底へと沈んだ男の來し方が居薄い仲を記されて行つた、伊太郎は其前居の口から役人の手帳にすらくと桃助を搦たのが病附で十一月

◆三月　の中旬までには三十餘回通ひ續けた、むつちりした宜い男前ではあつたが何處となく寂しい『僕には劍難の相がある』とうだが『なに、戯談半分に言つた言葉も兩人の仲が濃くなつて

◆足繁　く通へば通ふ程樓內の者には薄氣味惡い種となつた年も暮れ一月の初旬頃からは二人の仲には暗い影がさして桃助は頭が痛むからと言つては休む日が多くなり、伊太郎は二日も三日も流連する事も珍らしくなく、頭痛賭つた二人が終日

◆酒浸　りになる事も再々あつた、惑した嬖典の重なるに從つて男は前後夢中になり親戚知人の區別なく金策の廻らせる限りは廻らせたがもうそれも愛憎盡され世に棄てられ、廓の者に戀を隔てられ、雪降る夜を桃山の麓で

◆恨み　明した事もあつた『年は二十五の大厄、劍難の相がありますし女難の相もある』と言つた易者の兩眼がギラツと光るかと思ふと胸元にピストルが現はれた、憚!として跳ね起きると桃助が正體もなく眠つて居るのを見てほつと

◆吐息　をついた事もあつた、惑して不義理の借財に苦められ戀の柵に絡まれて五臟の疲れは激しくなると伊太郎の幻覺には、易者=劍難=女難=ピストル=彼は日夜脅迫觀念に襲はれて懊惱の日を續けた

◆桃助　に情死を迫つたのもその頃からであつた。

◎　◎　◎　◎　◎

世間を憚る伊太郎の葬儀が大和町二丁目の自宅で濫やかに營まれ樓などして線香の煙が立昇る時、桃助は龍山鐵道病院の手術臺に身を橫たへて居た、メスの光り!苦悶の聲!―

=彌生の十四日が四たび回つて來た一昨日片山まきは伊太郎の寫眞を飾つたであらうか、永登浦から川一つ隔てゝ桃山を眺めて什麽な懷ひに咽んだであらうか伊太郎の魂魄は何處の空に迷ひ宿つたであらうか

◉ヤーナー號引揚工事引受

朝鮮木浦沖にて沈沒せし露國義勇艦隊ヤーナー號は今回日本郵業會社にて引揚工事を引受くる事に十五日契約成立せり(大阪特電)

◉元山港の濃霧

琴平丸入港せず

元山港内は十四日夜來の濃霧にて咫尺を辨ぜず爲に第三琴平丸は定期入港を爲さず加之其他當港碇泊中の汽船皆出港不能なり(元山特電)

◉麗水丸遺品漂著

水夫長の外套

忠清南道藍川沖合に於て沈沒せる麗水丸乘込員の屍體捜索は既に全く絶望として中止せられたるが爾來附近の沿岸には屍體の漂著せるものもなかりしに過日偶々附近の島嶼に外套一著と帽子一個の漂著せるものありたれば右兩品を仔細に檢査せるに外套は正しく水夫長の著せるものなること判明せしが帽子は何人の所有物とも判明せざるも何れ殉難者中の所有品と思はるゝ點ありたりと同地點は從來遭難者あるも決して屍體の浮上らざる所にて恐らく魚類の爲めに喰盡さるゝに依るべしと

◉モヒ密賣犯人

安東縣四番通八丁目居住賀藥商滋賀縣生れの中西徳惣七、市場道七丁目居住徳島縣生れの田中默藏、四番通七丁目境野源八等は何れもモルヒネ密賣者として頃日安東署に逮捕されたり

◉債券代金橫領

高陽郡漢芝面漢江里居住穀物商鄭祚永(三二)は以前京城太平通二丁目勸業貯蓄合資會社朝鮮支部に雇はれ勸業債券の月賦販賣及び賦金取立に從業中昨年五月より京畿道安城郡二竹面竹山里村德銓外十名より第一回月賦金として二十四圓餘を集金しながら右の金を支部主任に交付せず橫領消費したる爲檢擧され京城地方法院の公判に附せらる

◉於義洞工業學校展覽會

於義洞公立京城工業學校は校長坪居氏の熱心に依り成績頗る良好生徒の製作品千二十九點に達したるを以て來る十七日の日曜を卜し午前九時より午後五時まで製作品展覽會を催し一般の觀覽に供する筈であるが製作品の重なるものは木工科に於て机、本箱、洋服掛、[illegible]金工科に於て[illegible]火鉢等二百五十一點[illegible]七十八點にして[illegible]同校にては[illegible]北に入る二丁許りの處にあり

◆給仕募集

高等小學校卒業又は同等程度の素養あり身體壯健にして希望者は本人履歷書持參あれ

京城日報社

苗木販賣

山林用苗、果樹苗、各種ニセアカシヤ、桐各種澤山あり盆栽、庭木、花種子は特價を以て袋貿仕候其他庭園造築請負

仁川扭峴驛前　花王園　北垣林之助

京日案內

普通一回前金五十錢(一番外一回毎に十錢增)(匿名一回增し)
▲申込後中途廢止の節は前金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御問合は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會は必ず數字の番號を記入のこと

皆通

貸家　水標橋側川邊道坪事務所及住宅好適庭園有水付家賃廿五圓(電九八八)大島　474

◎貸家　事務所に恰適造作實又は相談に應ず希望の方は電話一四〇五番へ　526

◉店員入用　十五才以上十八才迄　本町一丁目　電話二六九八番　緑田東洋館　527

◉店員入用　年齢十五六才小學卒業程度の者但市內要保證人　京城明治町二丁目　宇治屋茶舖　526

◉店員入用　但し保證人を要す(電話二二一四)　龍山鐵道構內　貴田屋雜貨店　524

◉見習看護婦至急入用希望者は來談あれ　京城明治町　久技肛門病院　521

◉醫師代診生至急募集履歷書並に寫眞送附ありたし　平壤　石川病院　516

◉配達人至急募集　希望者本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す　明治町二丁目　町田新聞部　518

◎看護婦及看護婦見習入用　南大門通(農銀裏)司生堂醫院　501

◉讓店　拾年の菓子老舖急讓居据の儘讓渡す場所平壤府本通希望者は京城日報平壤支局に付　499

◉店員入用　十五歲廿一歲廿五歲各一名入用要保證人履歷　本町　ウツボヤ書店　436

◉店員入用　十四五歲より二十四五歲迄但要市內に保證人本人來談　京城本町貳丁目　ちゝぶや　498

◉寫眞見習生至急入用　十八歲前後市內要保證人本人來談　武橋町　菊田寫眞舘　電話一八三　京城

番外

雜貨店員入用　地方の店　高等小學卒業程度自十七才至十九才履歷書携帶午後三時迄に乞來談　西大門町　東西煙草商會　515

◉店員募集　但本年高等小學卒業の者夜間通學の便を與ふ希望者直接本人來談あれ　本町一丁目　507

○ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　山岸天祐堂　412

湯屋讓る　場所義州通大正町都合に依り讓渡す御希望の方は長谷川町電話一四一一番廣安迄御一報下たし　522

◉電話至急讓受たし　京城旭町二丁目　東京旅館　123

學校向　模範植物標本及分開できる模型木材標本◉發電機其他化學用品數千種至急安價賣却　京城永樂町壹丁目

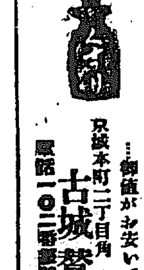
製本植字職工至急入用　京城旭町二(電話二二七九番)　犬養帳簿製造所　523

◉首藤直政に告ぐ　徵兵檢査期日切迫至急住所しらせ　別府　阪田　520

外科　內科　小兒科　皮膚科　花柳病
入院隨意　診察夜九時迄
院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一
京城旭町一丁目(本町通り左に入る)　島崎病院　電話二七三六番

効能一　逆上を下げ便通をよくし消毒其他諸毒を下す
効能で賣れる七ふえ　ひふみぐすり
大日本大阪昌華
電南七二九・振替大阪九七三
ひふみや伊藤長兵衞

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉　星印配合肥料、細工用地骨　細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼　牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅蔘町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城阿峴町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城一〇〇四番

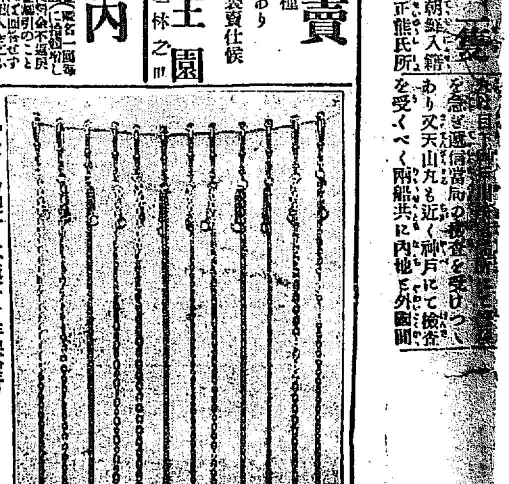


純良の藥品と賣藥が揃つて居ります
クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七番

內科　眼科　小兒科
入院隨意
肛門病の話　附痔疾特確注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す
京城黄金町三丁目(電車停留所前)　本田醫院　院長　本田達義
附屬　京城肛門病痔疾療院　電話二四四三番　振替京城三二八番

相當な方々は
化粧液としては、確實な信用のある美顏ユーマ用を撰ばれます

アメリカ製十八金張十ケ年保險付
壹本特價金四圓　送料十二錢
京城太平通　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部



櫻御殿

第百七十五回　大阪殿の家主人

座敷牢（十四）

銀杏から濟之丞、濟之丞から與惣治と土器は盃のある如く廻つた

『與惣治、委細は先刻も申し聞けた通りぢや、我等今日のお呼び出しは、尋常一樣の事ぢやない、恐らく生のまゝで歸る事は爲きまい、その時は頼むぞ、母上の御身を頼むぞ』

濟之丞は與惣治に滲々頼んだ、與惣治は敷居の外に垂頭いて居たが

『旦那樣の御忠義は、誰知らぬ方もございません、忠義をしてお咎めをお受けなさるお方があらうとは思はれませんが、萬々一お身の上に禍の掛る時がございましたら、わたくしが何うともして、後室樣の前途をお幸福に致します、其邊は御安心遊ばして下さいまし』と力強く云つた

『今に始めぬ志を歎ぶ、それではお母樣、これでお別れ致します、手前の身にもしもの事がございましたら、與惣治をお力にお頼みなさいまし、大崎三左衛門は關ケ原で戰死、今頃は冥途から、わたくしの參るのを待ち焦ねて居りませう』

『ぢやが、死ぬばかりが忠義ではござらんぞ、擁護あらば爲なさい、三左衛門殿は戰場に骸をお晒らしなされた、それでこそ御先祖もお歎び、一命にも光りがある、犬死は譽れでない、よく考へねばなりませんぞ』

『お母樣のお詞は反古に致しません、大殿の仰せ付けの外、滅多に命は捨てませんが、それでも機が機、何の樣な破目に落ちるかも知れません、隨分お身をお大事になさいまし、假し、お咎めは受けましても、わたくしの心に寸分の濁りもないのを、大殿はよく御存じであらうと存じます』

『何事も大殿にお縋りなさい、お前のお月樣は大殿ぢや、あの強いお光りで、お前の心をお照らし下さる』

濟之丞は云ひたいだけの言を云ひ、聞きたいだけの事を聞いて、心殘りなく起ち上る、銀杏は武士の母、一滴の涙も流さぬが、心の底には滂沱たる涙、それが元氣を殺ぎ、憂を促かす

『御無事のお歸りをお待ち申します』

與惣治は玄關まで見送つた、但には甚内角内が立つ筈で、式臺の兩側に蹲ひ居る。利右衛門は塀の陰に潛んで居たが、濟之丞を見るとつか／＼と驅け寄つて

『卒爾ながら御意を得る、拙者は早利右衛門、紀伊から態々お尋ね申した、貴殿濟之丞殿ぢやござらぬか』と叮嚀に聲掛けた、一徹の濟之丞は顔を見るも厭さうに横を向いて、詞も掛けず行き過ぎやうとする、それを追ひ縋つて

『濟之丞殿に物申す、御出仕掛けに不作法とは存ずるが、ちと申したい事あつて參上、お手間は取らせぬ、お留ひ下さる事はなるまいか』と更に慇懃な言葉で云つた

『いや』と濟之丞は膠も無く『一面不知の御仁、平にお斷はり申し上げる』

云ひ切つてまた歩みかけた、利右衛門は幾度も心を抑へて

『ではござらうが、退引きならぬ用事、一面不知の間ではござつても奥に勤めるお年寄芳野は肉身の妹、すれば多少の縁因はある、是非お逢ひ下されへ、無理なお願ひを致すのでは決してござらぬ』と三たび斷を與うして云つたが、濟之丞は痰を吐き掛けたい程にして

『折角のお頼みぢやが、拙者大畜生を同家中には持ちたくない、殊に急御用、二度仰せ下さるな、不肖には暴らし居れど、拙者與の武士でござる』

利右衛門は抑へ切れぬ怒りを見せて

『大畜生とは何ぢや、與の武士とは何んぢや、その仔細を承はらねばこゝ一寸も通し申さぬ』

あなたお酌と座をもつ拍子　木村屋アンパンコロ／＼と（京城明治町 電二八七〇）

日報俳壇

春季雜詠

如月や鏡にうつる寒き雲　翠虹
文弱に堪へで彷徨ふ二月哉　同
水底の石に照る日も二月哉　同
蔽伐に陽を賤ふ家の二月かな　同
宿醉の膓寒き二月哉　同
切凧の尾に鳴る風や椎大樹　同
春光を統べて澄めるや鳳凰　同
大鰹の水に風ある椿哉　同
春日の崖に高咲く椿かな　同
物の葉に雫して晴る霰哉　同
山鳩の去來す寺の椿かな　同
懸猫や庭木に月の大なる　北浪
雀來始めて手洗の水温みけり　同
孤袍落て春うそ寒き旅籠哉　同

新刊紹介（到着順）

▲極東時報（五四）十二錢、東京京橋區築地明石町共社

▲スネーク（四の三）純文學雜誌にして戯曲、詩、小説、評論、國粋短歌、日記等あり（二十錢、東京麹町上六番町四三潮會）

▲日本幼年（四の四）精巧な彩色刷の新式の繪本なり附録に紙細工あり（十三錢、東京京橋區[illegible]町一東京社）

▲トモダチ（四の四）子供の喜びさうな極彩色の繪本にて附録に自動車の玩具を添へる（十三錢、東京麹町富士見町一フタバ社）

▲新聞學及び文章講義（一）新聞法、論文、記事作法、修辭法、推敲、[illegible]、制度提要及び新外講義等として新聞記者研究、外電翻譯法、工場及び印刷機の研究、其他營業上の各項等（一ケ月二册九十錢、東京麹町有樂町一の三大日本新聞協會）

▲長春貿易協會月報（一五）三十錢、長春東一八區二長春貿易協會

▲實業之世界（三月一日號）十五錢、東京麹町區有樂町一ノ四共社

讀者の領分

▲霽島谷のある一流の料理店へ掛取りに行つたら女將がいふ、なりお前の内の掛は何時でも拂うてやると汚ない言葉で怒鳴りつけたのには驚いた（魚丁稚）▲昨年の春頃吉野町にゐた宮本君本欄で住所御知らせを（奈山愛讀者）▲仁川濟湯の近に誰人でもなく藥者とも見ぬ三十前後の東京訛りの女がゐたが近頃満鮮の人と内地へ新婚旅行を極め込んださうだ（岡目生）▲南大門の某醫院の腐敗、秘密を天下に公表しては如何ですか（退醫者）▲近來イロ／＼の物が流行して病人を惑はして困る、イヤ透視療法、イヤ氣合術、イヤ天理教、イヤエッキス光線、イヤラジユム皆々怪しげの病人から金を取る手段だ、エッキス光線に何ぼ通つても小生のルイレキは癒らぬ（得度生）▲此頃京城府の税金調査に來る人は實に[illegible]人の言行甚だ[illegible]來客有る時なぞ困る事多し今少し禮儀に心しむる[illegible]る人を廻らしたらどうですか（一困つた人）▲十四日午後の四時頃日報社前の廣場で自轉車乘り同士の衝突があつたあの廣場で衝突するなんて隨分間抜け野郎もあるもんだ類を以て集るで何だ／＼と騷いだ自轉車が廿三臺あつた（チゲ君）

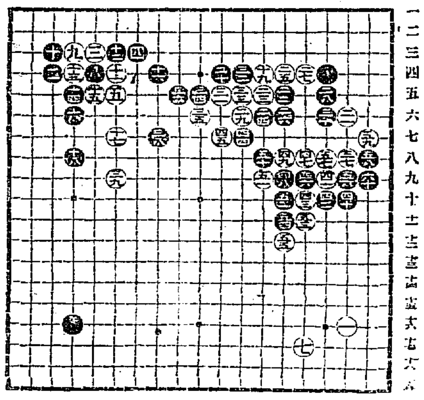
京城本町　千代田號印舖

碁戰

十番碁第八局の（三）

三段　山平善吉氏
二子　大久保雅彦氏

四一 ニの九
四二 ニの十
四三 ホの十
四四 チの七
四五 リの七
四六 ホの九
四七 ホの八
四八 への九
四九 への八
五〇 トの八
五一 トの九
五二 への十
五三 ホの十二
五四 への十一
五五 ホの十三
五六 ハの九
五七 ニの八
五八 ロの八
五九 ロの七
六〇 ロの九



苦力千五百名抑留

[illegible]

獨芬講和條約

通商關係暫定

獨逸は條約締結後列國をして芬蘭の自治獨立を承認せしむる爲め盡力すべく之に對し芬蘭は豫め獨逸[illegible]觀念を基礎とせる新條約を以て代ふべし通商航海條約に關する商議は遠からず開かるべく（其締結迄兩[illegible]中立國八特に委員長の選定は瑞西大統領に委託せらるべし兩國文書は成る可く速に交換せらるべく非[illegible]補足する爲締約國委員は批准後一箇月以内に伯林に會合すべし通商航海に關する暫定取極め大要左の[illegible]に許容せらるゝと等しき權利を享有す可し獨逸が換地圖若くは關稅同盟を締結せる一國に許與[illegible]及び航海に對しても適用せらる可し工業所有權及び著作權は一九一一年六月二日の巴里協定及一九〇五年七月十七日の海牙條約適用せらる可し各締約國は其内に入民が農作の爲他方領土内に一時的に移住を爲すを許可す可[illegible]

金牌賞牌廿四個受領

なるほど　美味である　滋養がある　と　賞讃されつゝある

蜂印香竄葡萄酒

よく味つて見て下さい！

必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升

毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す

蜂印香竄葡萄酒は鸛其他の葡萄酒と異なり精血強壯料を主成分として精製せる藥用品なり　到る處の藥店酒店にあり

東京本町　近藤利兵衛

かぜと言つても　ハカリ印のヘブリン丸

ねつと言つても　ハカリ印のヘブリン丸

斯く滿天下の賞讃を博せるは全く配劑の巧妙にして藥効の顯著なるに因る

本舖　大阪　合資會社　参天堂藥房

齒科醫學を根柢として品質いよいよ向上する

ライオン齒磨は

優秀卓抜の效果を具へて萬人の愛用を擅にしてをります

東京本所外手町　ライオン齒磨本舗　小林富次郎　大阪[illegible]　支店[illegible]

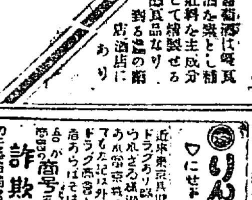
(911-7)

西村眞太郎著　朝鮮語會話　定價八十錢　郵稅四錢

京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

宗教南大門外停車場通　花柳病專門藥局　ドラッグ商會　滿鮮本部

京城南金町三電車通大阪ドラッグ商會



りん病ばい毒　患者諸君

□にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地に同ドラッグあり紛敷せられさる様御用心あれ當京城に於てもた記以外にドラック商會と稱する店あらはそは全く當店の商號を盗用する詐欺漢なり

京城龍山等各地と[illegible]

胃つぎ（うちみくじき）治療

明治町ふらんす教會前　荒川仁済堂　電二五九五番

鐵原居自動車部　金泉支部

金泉發時刻

[illegible]

▲小荷物運搬仕候　金泉電話四八番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

神代丸　三月十八日後四時
秀吉丸　三月廿一日後四時
君代丸　三月十九日後四時
大有丸　三月廿五日後四時出

仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、天津行

相模丸　三月二十日
三河丸　三月　日
高砂丸　三月卅一日　正午出

仁川海岸町一丁目　電話　番　堀回漕部

阪神共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行　朝鮮總督府命令航路

共同丸　三月十七日午後入港　三月十八日午後出帆

阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店　野口商會（電話二四七番）

元山代理店　田口回漕部（電話二七六〇八二）

京城取次店　河村運送店

汽船　釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　月　日後五時出
立神丸　月　日後五時出

○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸　月　日後十時出
立神丸　月　日後四時出

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大興丸　毎月二日九日十六日廿三日（十四）午後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　三月　日後六時出

○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　三月廿二日後六時出

本船取扱店　釜山埋立新町　大池回漕部

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告

仁川出帆

◎神戸大阪行（釜山寄港）
須磨丸　三月廿四日　後五時出
△日清丸　三月　日　後五時出
△福州丸　月　日　後五時出

◎木浦、釜山、嚴原、鄕ノ浦、長崎行
安東丸　三月二十一日　正午出

×◎鎭南浦、大連行
安東丸　三月十六日　正午出帆
×信濃川丸　月　日　後三時出帆

元山出帆

◎清津行
安平丸　三月二十一日　後十二時

◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
宮島丸　三月十六日　後九時出

大連出帆

◎上海、基隆、打狗行
湖北丸　四月二日　前六時出
恭隆丸　月　日　後四時出

内地各港出帆左表航路

南米行　毎年四回
北米行　毎月一回
濠洲行　毎月二回
孟買行　毎月一回
南洋行　毎月一回

御注意 [illegible]

大阪商船株式會社仁川支店　電話二二〇番
京城切符發賣所　内鮮滿運送會社　電話七〇八番
仁川京城通り切符發賣所　電話一六一番

朝鮮郵船　出帆

本社　電話長一九五三番

釜山港佐藤町　釜山支店
元山港海岸通　元山出張所
仁川港代理店　堀回漕部
木浦港代理店　山野回漕部
京城南大門通　松原運送店

◎浦項より釜山各地經由雄基行　但し×印あるは江原道寄港せず

第二高運丸　月　日
成鏡丸　月　日
京畿丸　月　日
忠清丸　月　日
釜山發

◎元山より北鮮各地經由雄基行
穩城丸　月　日
京城丸　月　日
京畿丸　月　日
忠清丸　月　日
高運丸　月　日
元山發

○大阪行（釜山門司經由）
平壤丸　月　日　釜山發

○元山ヨリ釜山浦門行
第二高運丸　月　日
京畿丸　月　日
元山發

○元山ヨリ江原道寄港釜山浦門行
成鏡丸　月　日
忠清丸　月　日
元山發

○鬱陵島行浦項及各地經由
盈德丸　月　日　釜山發

○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸
暖陽丸　毎日　釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　月　日　釜山發

○濟州島行（東廻ハ所安島經由　西廻ハ島局子島經由）
公州丸　月　日
慶興丸　月　日
木浦發

○釜山、麗水間
統營丸
海州丸
巨濟丸　毎日　釜山發

○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
順天丸
南陽丸　三日目毎ニ　木浦發

○木浦ヨリ多島各島行
慶興丸　月　日　木浦發

○仁川木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸　月　日
金海丸　月　日
仁川發

○海州行（江華島各島經由）
全州丸
南陽丸　毎日　三十一日ハ休航　其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ　仁川發

○南島行（延平、芝眾、大連經由）
江原丸　月　日　仁川發

○清津行（大阪神戸門司より）
康平丸　月　日　釜山發・元山發